

DIGITAL VOICE RECEIVER

AR-DV3

取扱説明書

目次

目次.....	1	サーチパス	34
はじめに	2	メモリーチャンネルパス	35
同梱品の確認	3	オーディオコライザー (EQ)	36
安全上のご注意 ご使用前に必ずお読みください... 4		SD カードについて	37
各部名称	6	SD カード録音	38
前面部	6	メモリーデータのバックアップ (保存)	39
背面部	7	バックアップデータの読み込み	40
ディスプレイ	8	SD カード内のデータを削除する	41
デジタル無線情報表示	9	アラーム・タイマー	42
ご使用前の準備	10	アラームの設定方法 (SINGLE/WEEKLY)	43
■基本接続	10	タイマー録音の設定方法 (SINGLE/WEEKLY)	44
■応用接続	12	スリープ	45
■基本操作	15	ファームウェアの更新	46
■初期設定	16	リセットとリカバリー	47
◆ ◆ 機能編	17	ラストワンスメモリー機能	48
機能編 基本機能	18	◆ ◆ 受信編	49
コンフィグレーションメニュー (CONFIG)	18	受信編 VFO モード	50
音量を変更する (AF GAIN)	19	VFO コピー	51
現在の音量と、スケルチの値を確認する (DISP)	19	VFO サーチ (VSR)	52
スケルチを調整する (SQL)	20	VFO サーチの設定	53
スケルチの種類を選択する	20	受信編 プログラムサーチモード	54
受信周波数の設定	21	サーチモード (SRCH)	54
オートモード (F-AU)	22	サーチバンク	55
デジタルオートモード (D-AU)	22	サーチグループ	57
復調モードの選択 (MODE)	23	サーチグループを選択する	58
IF 帯域幅の選択 (IF BW)	23	サイバーサーチ (CYB)	59
ステップ周波数の選択	24	受信編 メモリーチャンネル	60
ステップアジャスト (STEP ADJ)	25	メモリーチャンネル(MEM/SCN)	61
ステップアジャストの設定と解除	25	スキャンモード(SCN)	62
デジタル無線の選択受信機能	26	メモリーチャンネルの登録	63
オプション (OPTION)	27	メモリーチャンネルの内容を変更する	64
アッテネーターと RF アンプ (ATT, AMP)	28	メモリーバンク設定 (MEM BANK)	65
AGC (オートゲインコントロール)	29	メモリーチャンネルの削除 (DEL. MEM. CH)	65
RF GAIN	29	データエディター (EDIT)	66
機能編 応用機能	30	スキャングループ	67
拡張スケルチ機能	30	故障と思われる前に	68
プライオリティ受信 (PRIO)	32	定格	69
オフセット受信 (OFFSET)	33	索引	70

はじめに

このたびは AR-DV3 をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用に、本取扱説明書をよくお読みいただき、安全かつ快適にご利用ください。

本書は、「ご使用前の準備」「機能編」「受信編」の3部構成になっており、各項目には参照ページ番号 □ P が記載されております。

また、巻末には「索引」がありキーワードからすばやく探すことができます。

主な特徴

□ 広い周波数範囲

周波数範囲 100kHz～3000MHz を 10Hz 単位で受信可能。

18 MHz 以上は、2 段のスーパーヘテロダイン方式を用いて、最終的に 31MHz の中間周波数 (IF) に変換して受信します。第 1 IF を適切に切り替えることにより、スプリアスを極力抑えてギャップのない広帯域受信を実現します。

□ デジタル信号処理

全受信周波数帯域において、受信した信号は約 40MHz の高速サンプリングによりデジタル化され、デジタルシグナルプロセッサ (DSP) を使って復号処理されます。

□ 高精度基準周波数

受信機内部の基準発振器は 10MHz の温度補償型で $\pm 1\text{ppm}$ の精度を持ち、安定な受信を実現します。

□ アナログオールモードに対応

CW / SSB / AM / SAM / FM まで対応。各モードでは IF 帯域幅の設定が可能です。

□ デジタル無線を復調できるデジタルモードを搭載

アマチュア無線や、デジタル簡易無線、業務無線の DMR / NXDN / TETRA など様々なデジタル方式に対応。自動でデジタル無線を判別するデジタルオート^{※1}を搭載しています。

※1 TETRA (T-TC、T-DM) は非対応

□ USB-PD 対応

外部電源は、付属の AC アダプターの他に、USB PD 規格(15V)に対応する電源を使用可能です。
(全ての USB PD 製品の適合を保証する訳ではありません)

□ SD カード対応

受信音声の録音や、メモリーデータの保存ができます。

同梱品の確認

AR-DV3 本体	1
AC アダプター	1
ロッドアンテナ	1
取扱説明書	1
保証書	1

万が一不足品がありましたら、早急にお買い求めの販売店へお申し出ください。


安全上のご注意 ご使用の前に必ずお読みください

本機を安全にご使用いただくために、以下の内容を必ずお読みください。

ご使用になる方や周囲の方への危害、ならびに財産への損害を未然に防ぎ、安全かつ正しくご利用いただくための重要な情報を記載しています。

ご使用の前に、これらの注意事項を十分にご理解いただき、記載内容を守ってご使用ください。

絵表示について

	危険	誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
	警告	誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して生じることが想定される内容です。
	注意	誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。

図記号について

	禁止行為であることを告げる内容です		電源プラグを抜く事を指示する内容です。
	一般的指示 行為を指示する内容です。		分解禁止を告げる内容です
	水回りでの使用を禁止する内容です。		

受信した内容について

本機で受信した通信内容については、電波法第 59 条により「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在または内容を漏らし、あるいはこれを窃用してはならない」と定められています。





これは、通信の秘密を守るための重要な規定です。

お客様が受信された通信の内容やその存在を、第三者に漏らしたり、それをもとに何らかの行動を起こしたりすることは、法律により禁止されています。




本機をご使用の際は、これらの法令を十分にご理解いただき、適切な範囲でご利用ください。

安全上のご注意 ご使用の前に必ずお読みください





危険

	分解改造はしないでください。発熱・発火・破損の原因となります。
	航空機内などの使用を禁止された場所では電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与える場合があります。
	引火・爆発の恐れがある場所では使用しないでください。引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、発火の原因となることがあります。
	自動車などに設置する場合には、エアバッグ装置の付近や、運転の妨げとなる場所には設置しないでください。おもわぬ事故や怪我の原因になる場合があります。

警告

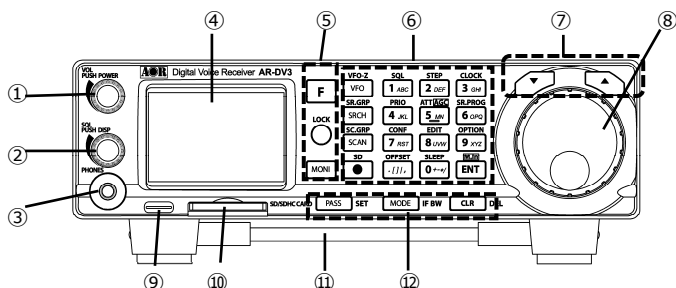
	煙が出る、異臭がするなどの異常がある場合は、ただちに電源プラグを外して弊社サービス課、または販売店へお問合せください。
	水のかかる場所では使用しないでください。故障の原因となります。
	音量は適切に設定してください。運転中などは周囲の状況音がきこえにくくなりおもわぬ事故になる場合があります。またイヤホン等をご使用の際には聴力障害の原因になります。

注意

	小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。ケガなどの原因になります。
	本機を湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や故障の原因となります。
	本機を直射日光のあたる場所や、熱器具の付近に置かないでください。変形など故障の原因となります。
	本機をシンナーやベンジンなどで拭かないでください。変質や塗装が剥がれる原因となります。汚れたら乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

各部名称

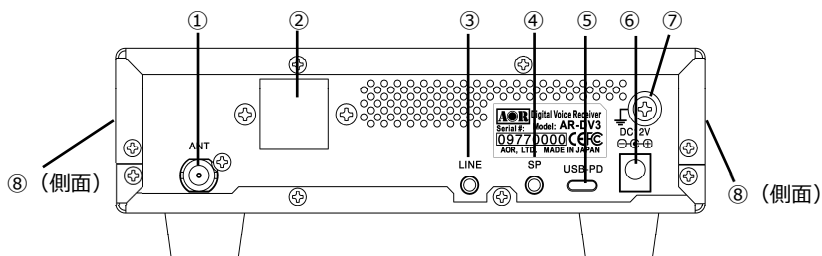
前面部



①	[VOL][POWER] ノブ	押す：電源 ON、 <u>長押し</u> ：電源 OFF、回す：音量調整 □P15, 19
②	SQL/MONI	回す：スケルチレベルの調整、RFGAIN(AGC OFF)の調整 □P20, 29 押す：現在の音量とスケルチレベルを表示 長押し：スケルチの動作切り替え (VSQ/LSQ/AUTO) □P20
③	PHONES (φ3.5 ステレオ)	イヤホンを使用する場合に使用します。□P12 ステレオジャック モノラル出力 左右から音が出力されます。
④	ディスプレイ	本機の動作状態を表します。 □P8 表示色および明るさを変更できます。 □P18
⑤	[F] キー	各キー上部に記載されている機能を使用する場合に使用します。 先に [F] を押すことでファンクションモードになります。 操作例  ATT = [F] [5] の順に押す AGC = [F] の次に [5] を長押し
	[LOCK] キー	音量、スケルチ以外の操作を無効にします。□P15
	[MONI] キー	押している間、スケルチを開放して音声をモニターします。
⑥	[テンキー] & 機能キー①	各機能や周波数の入力に使用します。 各キーの上位に記載の機能は [F] を先に押します。 [VFO] VFO モード [●] 録音キー [SRCH] サーチモード [ENT] MHz またはエントリー [SCAN] スキャンモード
⑦	[UP/DOWN] キー	各メニュー内のカーソル移動や、周波数の変更に使用します。
⑧	[ダイヤル]	回す：周波数や各設定の変更、メモリーチャンネルの変更、サーチ/スキャンの進行方向、各メニュー内の選択に使用します。 押す：デジタルモードの設定
⑨	USB-端子	コマンド制御、デジタル音声出力、12kHz オフセット IF 出力 □P13
⑩	SD CARD スロット	標準サイズの SDHC カードを挿入します。 録音データやメモリーデータ等を保存できます。□P37~P41
⑪	スタンド	本体の角度調整に使用します。
⑫	機能キー②	[PASS] パスキー [MODE] モードキー [CLR] クリアキー (操作のキャンセル)

各部名称

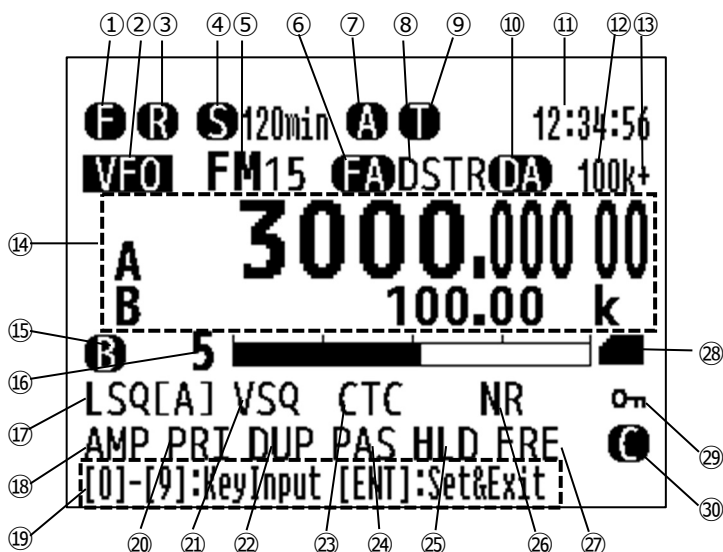
背面部



①	ANT	アンテナ端子 BNC 型コネクタ 50Ω □P11
②	オプション端子	IF 信号出力端子 BNC 型コネクタ 50Ω □P14
		デジタル IQ データ出力端子 USB TypeC □P14
③	LINE	ライン出力端子 □P13
④	SP	外部スピーカー用音声出力端子 φ3.5mm ステレオミニジャック モノラル出力 □P12
⑤	USB PD	電源入力端子 USB PD 15V 対応 □P10
⑥	DC12V	電源入力端子 DC12V φ5.5-2.1 □P10
⑦	グランド端子 (M4)	感電事故や、電波障害を防ぐためにアース線を接続してください。
⑧	固定用ネジ穴 (側面部)	M4×最長 10mm

各部名称

ディスプレイ



①	ファンクションモード	□ P6
②	受信モード表示	□ P49
③	Ⓡ録音中、Ⓣ再生中	□ P38
④	スリープタイマー残時間	□ P45
⑤	復調モード、IF帯域幅	□ P23
⑥	FA オートモード	□ P22
⑦	アラーム	□ P42
⑧	デジタル復調モード	□ P23
⑨	タイマー録音	□ P44
⑩	DA デジタルオート	□ P22
⑪	時刻表示	□ P16
⑫	ステップ周波数	□ P24
⑬	ステップアジャスト	□ P25
⑭	受信周波数表示、タイトル	□ P50
⑮	ビジー/スケルチ開放	□ P20
⑯	Sメーター 信号強度表示	-

⑰	スケルチ NSQ, LSQ, AUTO	□ P20
⑱	アッテネーター、アンプ	□ P28
⑲	操作ナビゲーション	-
⑳	プライオリティ	□ P32
㉑	ボイススケルチ	□ P30
㉒	DUP オフセット受信	□ P33
㉓	CTC, DCS, VI, RTN (FM時)	□ P30
㉔	AGC (AM, SSB, CW時)	□ P29
㉕	パス周波数	□ P34, 35
㉖	DELAY HOLD	□ P53, 57, 67
㉗	ノイズリダクション	□ P27
㉘	フリーサーチ	□ P57
㉙	SDカード	□ P37
㉚	キーロック	□ P15
㉛	リモート状態	□ P13

各部名称

デジタル無線情報表示

コード、スロット表示

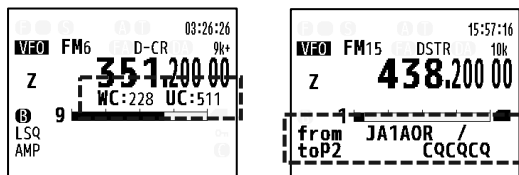
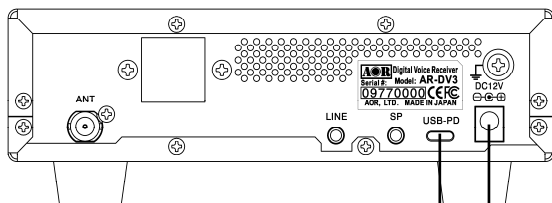


表 示	デジタルモード	内 容
WC UC	DCR/NXDN	・ホワイトニングコード 3桁 ・ユーザーコード 3桁
RAN	NXDN	・ラジオアクセスナンバー 2桁
COL SLOT	DMR	・カラーコード 2桁 ・スロット番号
NAC	P25	・ネットワークアクセスコード 3桁
SLOT	T-TC	・TETRA スロット番号 1~4
CAL RPT	D-STAR	・コールサイン ・レピーター/ DIRECT（直接通信） 💡 OPTION メニュー内の「DIG, DECODE」で表示/非表示の設定が可能です。 <input type="checkbox"/> P27

ご使用前の準備


■ 基本接続

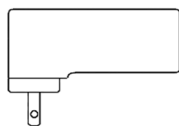
AC アダプターの接続



付属 AC アダプターの接続

(AC アダプターの形状は変更になる場合があります)

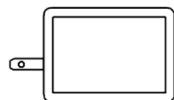
電源定格  P69



市販の USB PD 電源を使用する

本機は USB PD 規格に対応しています。

■ USB PD DC15V 30W 以上



USB Type-C

家庭用コンセント(AC100V 50/60Hz)へ接続

付属 AC アダプターと、USB PD 電源を同時に接続した場合は、電圧が高い方を電源として使用します。

- 💡 長期間使用しない場合はコンセントから AC アダプターを抜いてください。
- 💡 外部電源を使用される場合は、必ず安定化された電源をご使用ください。
自動車や船舶等の電源を直接接続することは故障の原因になります。
- 💡 市販の全ての USB PD 電源製品の動作確認はしておりません。

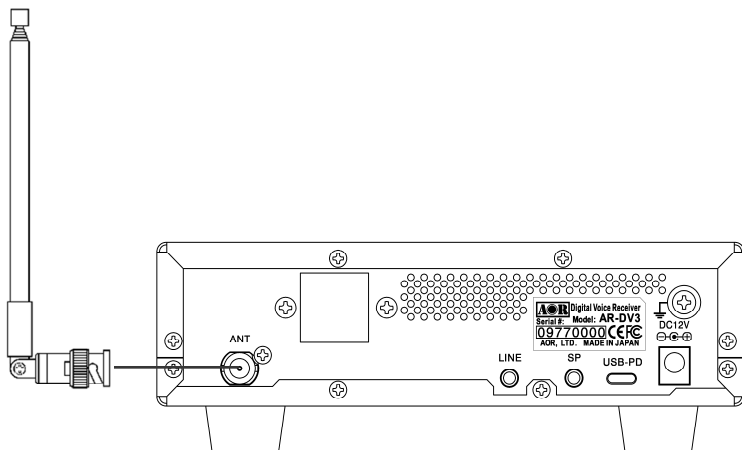
ご使用前の準備

アンテナの接続

■対応コネクタ BNC 型

ANT 端子に接続します。

付属のロッドアンテナ、または屋外アンテナを接続してください。



ご注意：アンテナ接続時の注意

受信機のアンテナ端子は非常に繊細です。

以下の点にご注意ください。

- ・ 本機の耐入力は+30dBm(1W)までです。これを超える信号は故障の原因となります。
- ・ 静電気や、落雷などの高電圧に注意
雷の恐れがある場合は、アンテナと AC アダプターを外してください。
- ・ 送信アンテナが近くにある場合は、受信機のアンテナを十分に離して設置してください。

ご使用前の準備

■ 応用接続

外部スピーカーの接続 (SP)

背面部の SP 端子に外部スピーカーを接続することで、受信音を外部スピーカーから出力できます。

音量は前面部の **[VOL]** ノブで調整してください。

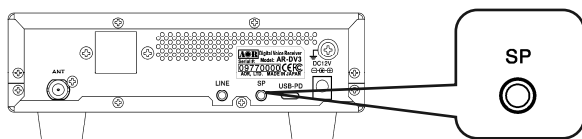
外部スピーカーを接続すると、内蔵スピーカーの音声出力は停止します。

また、前面部の PHONES 端子にヘッドホン等を接続すると、内蔵スピーカーおよび外部スピーカーの音声出力は停止します。

・各端子の優先度 PHONES> 外部 SP> 内蔵スピーカー

■ 対応プラグ φ3.5 ステレオ (L 側のみ出力 モノラル音声)

■ 定格 □ P69



イヤホンの接続 (PHONES)

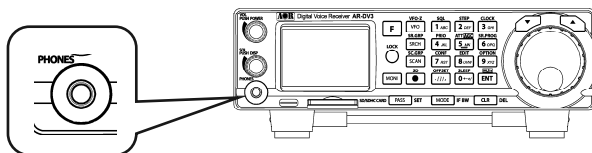
前面部の PHONES 端子にイヤホンを接続することができます。

音量は **[VOL]** ノブで調整してください。

PHONES 端子にイヤホンを接続すると、内蔵スピーカーおよび外部スピーカーからの音声出力は停止します。

各端子の優先度 PHONES> 外部 SP> 内蔵スピーカー

■ 対応プラグ φ3.5 ステレオ (LR 出力 モノラル音声)



ご使用前の準備

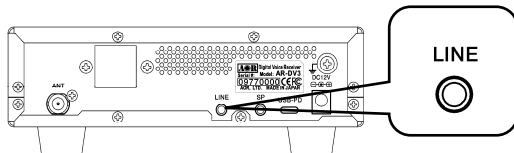
ライン出力 (LINE)



復調した音声信号の出力、または 12kHz オフセット IF 信号を出力します。

■対応プラグ φ3.5 ステレオプラグ モノラル出力


■定格 -10dBm 600Ω負荷

AF GAIN 連動なし

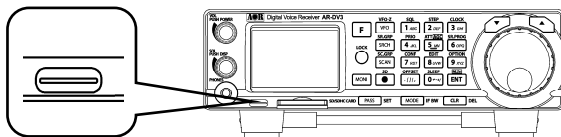


- ・コンフィグメニューの「LINE OUT」で出力選択が可能です。  P18
AUDIO (復調音声) ⇔ IF 12k (12kHz オフセット IF 出力)
- ・コンフィグメニューの「IF 12k AGC」で IF12k のゲイン設定が可能です。  P18

USB 端子

- ・「USB Audio Class」規格のデジタルオーディオ信号を出力します。
コンフィグメニューの「LINE OUT」設定で出力信号の選択が可能です。
AUDIO⇔12kHz オフセット IF 出力  P18
- ・パソコンと接続して本機をコマンド操作することができます。

■対応コネクタ USB Type-C



USB ケーブルでパソコンと接続することで、本機をコマンド操作できます。

リモートコントロール中は画面上に C マークが表示されます。

リモートコントロール状態

リモートコントロール中は音量とスケルチ以外の操作は無効になります。

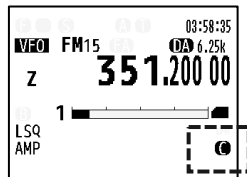
リモートコントロールを解除するためには[ENT]を押します。

💡 12k オフセット IF 信号の出力に条件はありません。

ただし、IFBW を 30kHz 以上にすると信号が歪む場合があります。

💡 12k オフセット IF 信号は市販のソフトウェアで使えます。

💡 パソコンと接続すると、受信音にノイズが発生する場合があります。



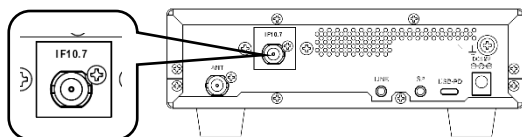
ご使用前の準備

IF 出力（オプション）

本機で受信した信号の中間周波数（IF）信号を、外部機器へ出力することができます。スペクトラムアナライザーや外部復調器など、IF 信号を必要とする機器との接続にご利用ください。

本機側の設定項目はありません。接続するだけで出力されます。

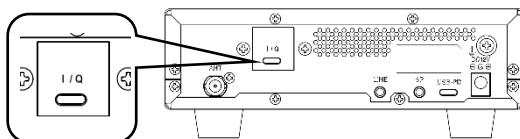
■ 対応コネクタ BNC-P



IQ OUT 出力（オプション）

市販の SDR ソフトウェアで使用可能なデジタル IQ データを出力することができます。IQ 信号は、受信した無線信号を I（同相）成分と Q（直交）成分に分けてデジタル化したもので、外部ソフトウェアによる復調や解析に利用されます。

■ 対応コネクタ USB 2.0 Type C



※端子の仕様および記載内容は、変更となる場合があります。

ご使用前の準備

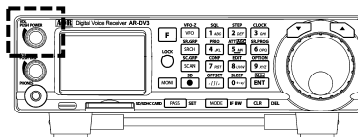
■ 基本操作

電源を入れる

操作手順

❶ **[POWER]**ノブを押します。

スタート画面が表示され起動します。




電源を切る

操作手順

❶ **[POWER]**ノブを長押しします。

現在の状態を保存してシャットダウンします。

💡 「PROTECT」機能がONの場合、現在の状態を保存しません。  P18, P48

💡 シャットダウンしないで外部電源を外すと現在の状態が保存されません。

💡 起動中およびシャットダウン中は外部電源を外さないでください。

キーロック

音量、スケルチ以外の操作を無効にします。

操作手順

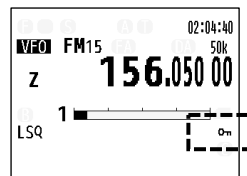
❶ **[LOCK]**を長押しします。

キーロックのアイコンが表示されます。

キーロックの解除

[LOCK]を長押しします。

キーロックのアイコンが消えます。



💡 キーロック中は、電源操作はできません。

電源を切る場合は、先にキーロックを解除してください。

ご使用前の準備

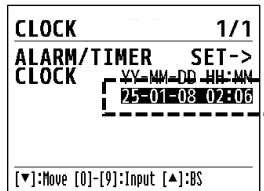
■ 初期設定

時刻と日付の設定 (CLOCK)

操作手順

- ①[F]→[3]の順に押して「CLOCK」を表示します。
- ②[DOWN]を押してカーソルを「CLOCK」に合わせます。
- ③[テンキー]で 年→月→日→時→分の順に入力します。
例 2026 年 2 月 15 日 18 時 00 分の場合
[2][6][0][2][1][5][1][8][0][0]の順に入力します。
- ④[ENT]を押して決定します。

時計が動き出します。



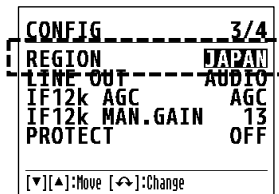
⚠ 時計機能は、時刻表示の他に、アラーム、タイマー機能に使用します。

地域の設定 (REGION)

使用する地域を設定します。

- USA, JAPAN, EURO

オートモード(F-AU)のバンドプランに影響します。
適切な設定で受信するために必ずご確認ください。



操作手順

- ①[F]→[7]の順に押して、「CONFIG」を表示します。
- ②[UP/DOWN]を押して「REGION」にカーソルを合わせます。
- ③ダイヤルを回して、地域を選択します。
- ④[ENT]を押して決定します。

◆ ◆ 機能編

(受信編は P49)

基本機能

■ コンフィグレーションメニュー	P18
■ 音量を変更する	P19
■ 現在の音量、スケルチの値を確認する	P19
■ スケルチを調整する	P20
■ スケルチの種類を選択する	P20
■ 受信周波数の設定	P21
■ オートモード	P22
■ デジタルオートモード	P22
■ 復調モードの選択	P23
■ IF帯域幅の選択	P23
■ ステップ周波数の選択	P24
■ ステップアジャスト	P25
■ ステップアジャストの設定と解除	P25
■ デジタル無線の選択受信機能	P26
■ オプション	P27
■ アッテネーターとRFアンプ	P28
■ AGC	P29
■ RF GAIN	P29

応用機能

■ 拡張スケルチ機能	P30
■ プライオリティ受信	P32
■ オフセット受信	P33
■ サーチパス	P34
■ メモリーチャンネルパス	P35
■ オーディオコライザー	P36
■ SDカードについて	P37
■ SDカード録音	P38
■ メモリーデータのバックアップ	P39
■ バックアップデータの読み込み	P40
■ SDカード内のデータを削除する	P41
■ アラーム・タイマー	P42
■ アラームの設定方法	P43
■ タイマー録音の設定方法	P44
■ スリープ	P45
■ ファームウェアの更新	P46
■ リセットとリカバリ	P47
■ ラストワンスメモリー機能	P48

機能編 基本機能

コンフィグレーションメニュー (CONFIG)

主に本機の基本的な機能を設定できます。

操作手順

- ①[F]→[7]の順に押して、「CONFIG」を表示します。
- ②[UP/DOWN]を押して項目を選択します。
- ③[ダイヤル]で値を変更します。
- ④[ENT]を押して決定します。

CONFIG	1/4
BEEP	0:.....2
EQ	
COL.SET	BLACK/WHITE
LCD BRIGHT	BRIGHT
LCD V-POS	+0
[▼][▲]:Move [↔]:Change	

BEEP	操作時のビーブ音量の設定 OFF, 1~7
EQ	オーディオコライザー機能 □ P36
COL. SET	ディスプレイのカラー設定
LCD BRIGHT	ディスプレイの明るさ設定 BRIGHT/DARK
LCD V-POS	ディスプレイの表示上下位置調整 -3~+2
KEY LIGHT	キー照明の設定 OFF/ CONT (常時点灯) / AUTO(操作またはスケルチがオープンすると点灯。約 7 秒後に消灯)
KEY COLOR	キー照明色の設定 OFF/6 色から選択
KEY DIMMER	キー照明の減光設定 OFF/ON (減光)
SQL. SKP	スケルチスキップの設定 □ P38
ID	受信機の ID 設定 リモートコントロール用 00~99
RES. CODE	リモートコントロール時のリザルトコード付加設定 ON, OFF
REGION	地域設定 周波数オートモード用 USA, JAPAN, EURO. □ P16
LINE OUT	LINE 端子と USB 端子の出力設定 □ P13 出力の選択 AUDIO⇔12kHz オフセット IF 出力
IF12k AGC	IF 12kHz オフセット出力のゲイン設定 □ P13 AGC=オートゲイン、MAN. =マニュアルゲイン
IF12kMAN.GAIN	IF12k AGC で MAN.AGC 選択時のゲイン値設定 00~25 □ P13
PROTECT	ラストワンス機能設定 OFF=有効、ON=無効 □ P48
TETRA ACTIV.	テトラ GSSI 選択機能のアクティベーション
SER	本機の製造番号を表示
FIRM VER	本機のファームウェアバージョンの表示
SYS. UPDATE	ファームウェアの更新 □ P46

機能編 基本機能

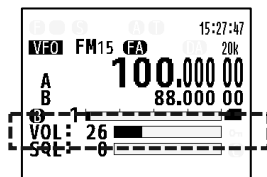
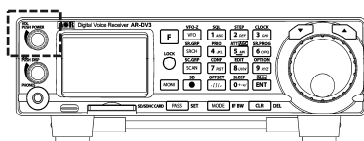
音量を変更する (AF GAIN)

■ 音量値 0~99

操作手順

① [VOL]ノブを回します。

画面上に音量値が表示されます。



💡 音量調整は、内蔵スピーカー及び、イヤホン端子、外部スピーカー端子が対象です。
LINE 端子の出力や録音レベルは変化しません。

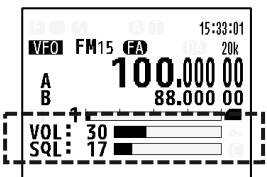
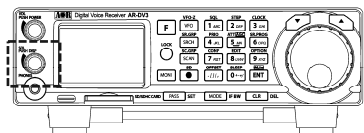
現在の音量と、スケルチの値を確認する (DISP)

操作手順

① [SQL]ノブを押します。

画面上に現在の値とバーが表示されます。

表示は数秒後に消えます。



機能編 基本機能

スケルチを調整する (SQL)

電波が無いときに発生するノイズを消す機能です。

「VFO モード」「サーチモード」「スキャンモード」で共通して使用できます。

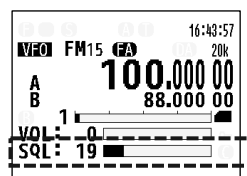
スケルチが効いて音声が消えることを「スケルチが閉じる」、音声が出力することを「スケルチが開く」といいます。

スキャンモードやサーチモードでは、スケルチの値を超える強さの電波を受信すると、電波があると判断して音声を出力します。

■スケルチ値 0～99

操作手順

- ①ノイズ音が消える位置まで、[SQL]ノブを時計方向へ回します。
画面上にスケルチ値が表示されます。



スケルチの種類を選択する

スケルチの種類を選択します。

LSQ レベルスケルチ

電波の強さが設定値以下になったときに音声を遮断する方式です。

信号の強さを基準にしているため、安定した動作が可能です。

NSQ ノイズスケルチ

ノイズの量を判断して音声を遮断します。

ノイズが多いときに自動的に音声を消すため FM モードなどで効果的です。

AUTO 自動

FM は NSQ が、CW, SSB, AM では LSQ が選択されます。

デジタルモードは FM で動作するため NSQ になります。

操作手順

- ①[SQL]ノブを長押しすると、SQL 表示が反転します。

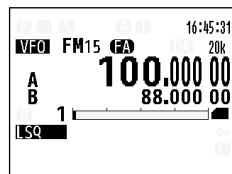
- ②[SQL]ノブまたは、ダイヤルを回して選択します。

[LSQ], [NSQ], [AUTO]

AUTO は復調モードが FM の場合は NSQ に、

FM 以外のアナログモードとデジタルモードの場合は LSQ に自動で選択されます。

- ③[SQL]ノブを押して決定します。



💡 スケルチ機能は他にもあります。 📖 P30

機能編 基本機能

受信周波数の設定

VFO モードでは、ステップ周波数単位で変化します。 ステップ周波数 □P24

ダイヤルで変更する

操作手順

ダイヤルを時計方向へ回すと、周波数が上昇します。

反時計方向へ回すと、周波数が減少します。

[F]を押してから**[ダイヤル]**を回すと×10 で変化します。



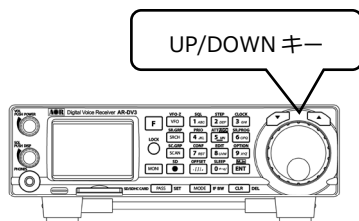
UP/DOWN キーで変更する。

操作手順

[UP]を押すと、周波数が上昇します。

[DOWN]を押すと、周波数が減少します。

[F]を押してから**[UP/DOWN]**を押すと×10 で変化します。



テンキーから周波数を入力する

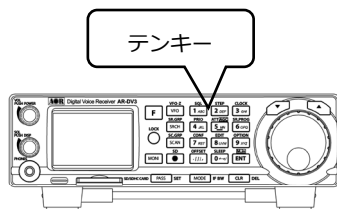
操作手順

例 82.500MHz を入力する場合

[8][2][.][5][ENT]の順に押します。

例 594kHz を入力する場合

[0][.][5][9][4][ENT]の順に押します。(頭の0は省くことができます)



💡 周波数の入力中に**[UP]**を押すことで入力した数字を1つ消すことができます。

機能編 基本機能

オートモード (F-AU)

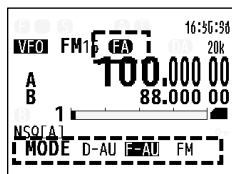
受信周波数に合わせて以下の項目が自動で設定されます。
アナログ復調モードのみが対象です。

■ オートモード設定項目

- ・ 復調モード
- ・ IF 帯域幅
- ・ ステップ周波数
- ・ ステップアジャスト
- ・ オフセット受信

操作手順

- ① **[MODE]**を押して、「MODE」選択メニューを表示します。
- ② **[ダイヤル]**を回して、「F-AU」を選択します。
- ③ **[ENT]**を押して決定します。
「FA」アイコンが表示されます。



💡 地域設定によって、自動設定の結果が変わります。 □ P16

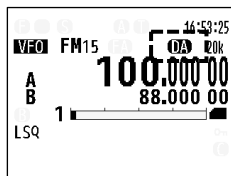
💡 IF 帯域幅やステップ周波数、復調モード等を変更するとオートモードは解除されます。

デジタルオートモード (D-AU)

デジタル無線を自動で選択するモードです。
デジタル無線を受信すると無線方式に合わせた復調モードになります。
デジタル方式がわからない場合にご使用ください。
💡 TETRA 方式(T-DM, T-TC)には対応していません。

操作手順

- ① **[MODE]**を長押しします。
または、「MODE」選択メニューから「D-AU」を選択します。
「DA」アイコンが表示されます。



💡 受信状況やノイズによってデジタル方式を識別できない場合があります。

その場合は復調モードを手動で設定してください。

💡 本機で対応していないデジタル方式は識別することができません。

機能編 基本機能

復調モードの選択 (MODE)

受信するバンドに合わせて変調方式を正しく設定してください。

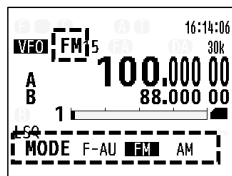
アナログ方式では、手動で選択する方法と、自動で選択するオートモード「F-AU」があります。
デジタル方式では、手動で選択する方法と、自動でデジタル方式を識別するデジタルオートモード「D-AU」があります。

復調モードの種類

- アナログモード : CW, LSB, USB, AM, SAH, SAL, FM, F-AU
- デジタルモード : DSTAR, YAES, DMR, D-CR, dPMR, P25, ALIN, T-DM, T-TC, D-AU

操作手順

- ❶ [MODE]を押して「MODE」選択メニューを表示します。
- ❷ [ダイヤル]を回して復調モードを選択します。
- ❸ [ENT]を押して決定します。



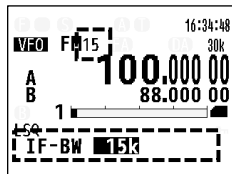
IF 帯域幅の選択 (IF BW)

中間周波数の帯域フィルターの幅を選択します。

受信するバンドや復調モードに応じて、混信や音割れが無いように最適な帯域幅を選択してください。音質を重視する場合は広めの帯域を選ぶことで自然な音声が得られます。

操作手順

- ❶ [F]→[MODE]の順に押して「IFBW」選択メニューを表示します。
 - ❷ [ダイヤル]を回して IF 帯域幅を選択します。
 - ❸ [ENT]を押して決定します。
- 💡 オートモード(F-AU)では自動で設定されます。
- 💡 設定変更すると、オートモード(F-AU)は解除されます。



■ 復調モードと IF 帯域幅の組み合わせ一覧

復調モード(MODE)	IF 帯域幅(IFBW)
CW	200Hz, 500Hz
SSB (LSB, USB)	1.8kHz, 2.6kHz
AM	3.8kHz, 5.6kHz, 8kHz, 15kHz
SAH, SAL	3.8kHz, 5.6kHz
FM	6kHz, 15kHz, 30kHz, 100kHz, 200kHz
デジタルモード	自動

ステップ周波数の選択

周波数を変化させたときの変化量をステップといいます。

周波数帯（バンド）は決められたステップで割り当てられています。適切なステップにしないと、周波数を連続で変化させたときに正しい周波数にならず受信することができません。

VFO モードでは[ダイヤル]を回した時、または、[UP/DOWN]を押した時の変化量です。

サーチモードのステップ設定は、サーチバンク登録で行います。 □ P55



ステップは、受信周波数をステップで割り切れる必要があります。

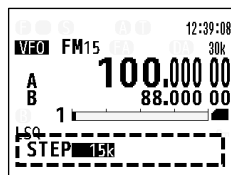
割り切れない場合は、ステップアジャストの設定が必要です。 □ P25

例：433.200MHz/20kHz 割り切れる。

148.010MHz/20kHz 割り切れない。→ステップアジャストが必要。

操作手順

- ①[F]→[2]の順に押して「STEP」選択メニューを表示します。
- ②[ダイヤル]を回してステップ周波数を選択します。
- ③[ENT]を押して決定します。



💡 ステップ周波数はプリセットから選択します。テンキーから数値を入力することはできません。

💡 オートモード「F-AU」では自動で設定されるバンドがあります。

ステップアジャスト (STEP ADJ)

無線通信で使われている周波数は、一定間隔で区切られて割り当てされています。ところが、まれにこのステップで割り切れない特殊な割り当てのバンドが存在します。このような特殊な割り当てをしている周波数を受信するときは、ステップアジャストの設定が必要です。

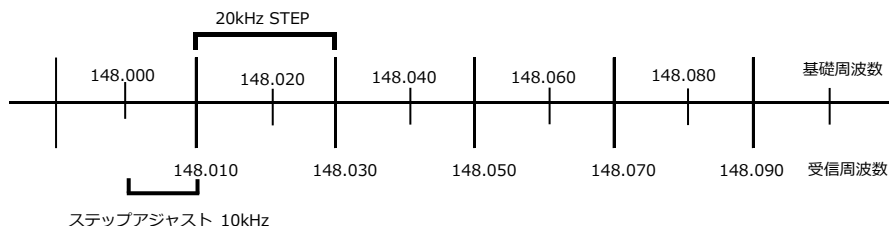
🔊 本機のステップアジャスト機能はステップ周波数の 1/2 以下のみ設定が可能です。

そのためアジャスト機能を使っても対応できない場合があります。

例：145.210MHz の場合 20kHz STEP 可能、15kHz STEP 不可。



148.010MHz→148.030MHz→148.050MHz→148.070MHz→148.090MHz の様に、STEP20kHz で受信したい場合には、10kHz のステップアジャストが必要です。

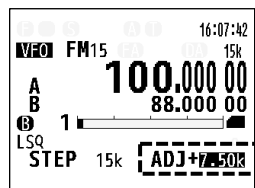


ステップアジャストの設定と解除

設定方法

操作手順

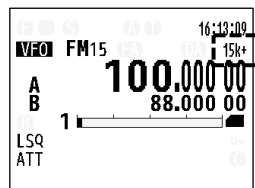
- ①[F]→[2]の順に押して「STEP」選択メニューを表示します。
- ②[PASS]を押すと「ADJ」が表示されます。
(ステップ周波数の 1/2 のアジャスト値が最初に表示されます)
- ③[ダイヤル]を回してアジャスト値を選択します。
- ④[ENT]を押して決定します。



解除方法

操作手順

- ①[F]→[2]の順に押して「STEP」選択メニューを表示します。
- ②[PASS]を押すと「ADJ」が表示されます。
- ③[ダイヤル]を回してアジャスト値を 0 にします。
- ④[ENT]を押して決定します。



+表示はステップアジャスト設定中を意味します。

機能編 基本機能

デジタル無線の選択受信機能

デジタル無線の復調モードでは、下記の選択受信機能を使用できます。

操作手順

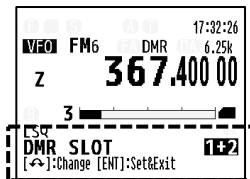
受信するデジタル復調モードを選択します。

①[ダイヤル]を押して、画面下部に選択受信機能を表示します。

[ダイヤル]を押す度に選択受信機能が切り替わります。

②[UP/DOWN]を押して数値の桁を選択後、テンキーでコードを入力します。またはダイヤルを回して選択します。

③[ENT]を押して決定します。



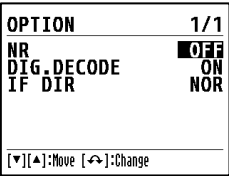
復調モード	選択受信機能	説明、操作
DC-R	ENC. CODE	デジタル簡易無線の秘話コード 00000~32768 から選択。 ・コードを入力 コードが一致した場合に正常な音声出力されます。
	WC	ホワイトニングコード 000~511 から選択。 ・コードを入力 コードが一致した場合に音声出力されます。 ・000=自動で識別します。
	NXDN RAN	ラジオアクセスナンバーを選択します。 ・OFF=選択なし ・ON=00~64 から選択 コードが一致した場合のみ音声出力します。
DMR	SLOT	タイムスロットを選択します。 スロットが一致した場合のみ音声出力します。 ・1=SLOT1 のみ ・2=SLOT2 のみ ・1+2=SLOT1 を優先 ・2+1=SLOT2 を優先
	COLOR	カラーコードを選択します。 ・OFF=選択なし ・ON=0~15 から選択 コードが一致した場合、音声出力します。
P25	NAC	ネットワークアクセスコードを選択します。 ・OFF=選択なし ・ON=000~FFF から選択 コードが一致した場合のみ音声出力します。
T-TC	SLOT	タイムスロットを選択します。 スロットが一致した場合のみ音声出力します。 ・AUT=自動で選択されます。 ・スロット指定 1~4

オプション (OPTION)

必要に応じてオプション機能の設定を行います。
この設定は、各 VFO モード、サーチバンク、メモリーチャンネル毎に設定が可能です。

操作手順


- ①[F]→[9]の順に押してオプションメニュー画面を表示します。
- ②[UP/DOWN]を押して項目を選択します。
- ③[ダイヤル]を回して設定を変更します。
- ④[ENT]を押して決定します。



項目	説明
NR	ノイズリダクション ランダム性ノイズを除去する機能。 設定範囲 OFF/LOW/MID/HIGH
DIG. DECODE	デジタルモード受信時の、アマチュア無線(D-STAR)情報表示の有無 設定範囲 ON/OFF ※受信画面で[ダイヤル]長押ししても ON/OFF が可能です。
IF DIR	本機の IF 方向の指定 設定範囲 NOR/REV 他の受信機で受信した IF 信号を、本機のアンテナ端子に入力してデジタルデコードする際の設定。 正常にデコードできない場合に設定を変えてお試しください。

アッテネーターと RF アンプ (ATT, AMP)

アッテネーターと RF アンプは、受信信号の強さに応じて使い分ける機能です。

- 各 VFO モード、各メモリーチャンネルで設定可能。
- 💡 サーチモードではサーチバンクの登録で設定します。  P55

アッテネーター(ATT)

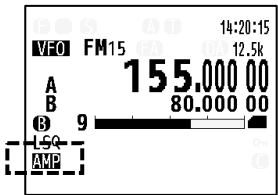
強すぎる信号を弱めて、歪や混信を防ぐ機能です。
使用することで、受信状態の改善に効果があります。

RF アンプ(AMP)

信号レベルを増幅する効果があります。
受信レベルが低い時にご使用ください。

操作手順

- ❶[F]→[5]の順に押すと、画面左下部分が反転します。
- ❷[ダイヤル]を回して選択します。
- ❸[ENT]を押して決定します。



💡 信号の強さは「AMP (増幅) > OFF > ATT (減衰)」の順に弱くなります。
受信環境に応じて切り替えてください。

選択項目	
「AMP」	約 14dB 増幅 受信周波数 18MHz 以上で使用可
「 」	オフ
「ATT」	約 20dB 減衰

AGC（オートゲインコントロール）

AGC とは、入力された信号強度に対して利得を制御することで音量を一定に保つ機能です。

■設定条件

- ・ AM モード、SSB（LSB, USB）モード、CW モード

AGC の設定は、AGC のリリース時間（下げたゲインを戻すまでの時間）を設定します。

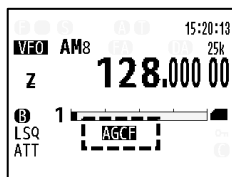
時間を早くすると、SSB の無音時や、CW で送信していない瞬間にゲインが上がるためノイズが増えた感じになります。また、遅くしすぎるとゲインがすぐに回復しないため、次に出てきた信号を受信できない場合があります。

🔊 オートモード「F-AU」では自動で設定されます。

選択項目
AGCF =ファスト
AGCM=ミドル
AGCS=スロー
RF-G=マニュアル RF ゲイン調整(AGC OFF)

操作手順

- ①[F] を押してから、[5]を長押しすると、AGC 表示が反転します。
- ②[ダイヤル]を回して選択します。
- ③[ENT]を押して決定します。



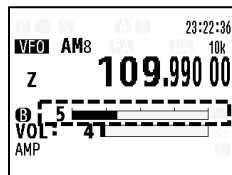
RF GAIN

上記 AGC 設定で、「RF-G」を選択した場合に使用できます。

S メーターが RF ゲインの表示に切り替わります。

操作手順

- ①[スケルチ]ノブを回します。
- RF ゲインの値が変化します。



🔊 「CW」や「SSB」ではゲインを落とした方が、ノイズが少なくなり聞きやすくなる場合があります。受信状況に合わせてご使用ください。

拡張スケルチ機能

通常使用するスケルチ以外にも特殊なスケルチ機能があります。

- 使用条件： ・ FM モード ・ IF 帯域幅(IFBW) 6kHz または 15kHz

種類	説明
CTCSS（トーンスケルチ）	トーンが一致した場合に音声を出力します。 トーンを検出するサーチ機能付き。
RTN（逆トーンスケルチ）	トーンを検出している間は、音声を消します。
DCS （デジタルコードスケルチ）	アマチュア無線などに使用される個別呼び出し機能。
V. SCR （ボイススクランブラー）	音声が入った信号を、元に戻して正常な音声にします。

操作手順

- ①[F]→[1]の順に押して、TONE/CODE SQL を表示します。
- ②「SQL」項目で、[ダイヤル]を回して使用するスケルチを選択します。
（上記表を参照）

TONE/CODE SQL	1/1
SQL	OFF
CTCSS/RTN	OFF
DCS	OFF
V. SCR	2000
[▼][▲]:Move [↔]:Change	

- ③[DOWN]を押して、選択したスケルチにカーソルを合わせます。
[ダイヤル]を回してトーンやコードの値を変更します。
- ④[ENT]を押して決定します。
💡 「SQL」で選択した 1 種類のスケルチのみ動作します。
複数のスケルチ機能を同時に使用することはできません。

TONE/CODE SQL	1/1
SQL	CTC
CTCSS/RTN	074
DCS	OFF
V. SCR	2000
[▼][▲]:Move [↔]:Change	

ボイススケルチ (VOICE SQL)

音声に反応するスケルチです。
音声があるとスケルチが開き、音声が無くなるとスケルチを閉じます。

■ LEVEL 0~7

操作手順

- ①[F]を押してから、[1]を長押しして VOICE SQL 画面を表示します。
- ②VOICE SQL で[ダイヤル]を回して ON にします。
- ③[DOWN]を押して LEVEL にカーソルを合わせます。
- ④LEVEL で音声レベルの値を設定します。
値を大きくするほど、大きい音声が入らないとスケルチが開きません。
- ⑤[ENT]を押して決定します。

VOICE SQL	1/1
VOICE SQL	OFF
LEVEL	0
[▼][▲]:Move [↔]:Change	

拡張スケルチ機能（補足）

CTCSS/RTN トーン周波数一覧（Hz）

60.0	67.0	69.3	71.9	74.4	77.0	79.7
82.5	85.4	88.5	91.5	94.8	97.4	100.0
103.5	107.2	110.9	114.8	118.8	120.0	123.0
127.3	131.8	136.5	141.3	146.2	151.4	156.7
159.8	162.2	165.5	167.9	171.3	173.8	177.3
179.9	183.5	186.2	189.9	192.8	196.6	199.5
203.5	206.5	210.7	218.1	225.7	229.1	233.6
241.8	250.3	254.1	SRCH			

SRCH=トーン周波数をサーチします。トーン周波数が不明な場合に使用します。

DCS コード一覧

017	023	025	026	031	032	036	043	047	050
051	053	054	065	071	072	073	074	114	115
116	122	125	131	132	134	143	145	152	155
156	162	165	172	174	205	212	223	225	226
243	244	245	246	251	252	255	261	263	265
266	271	274	306	311	315	325	331	332	343
346	351	356	364	365	371	411	412	413	423
431	432	445	446	452	454	455	462	464	465
466	503	506	516	523	526	532	546	565	606
612	624	627	631	632	654	662	664	703	712
723	731	732	734	743	754	SRCH			

SRCH=DCS コードをサーチします。コードが不明な場合に使用します。


V. SCR 周波数

設定範囲 2000~7000Hz （10Hz 単位）

プライオリティ受信 (PRIO)

他の周波数を受信しているときでも、指定したインターバルでプライオリティチャンネルの受信チェックを行う機能です。プライオリティチャンネルで電波があると優先的に受信し続け、電波がなくなると再度インターバル動作に戻ります。

プライオリティチャンネルは、メモリーチャンネルから一つを選択します。

📍 メモリーチャンネルの登録  P63

プライオリティチャンネルの登録

■登録可能数 1 ■インターバル 1~99 秒 ■ディレイ OFF、0.1 秒~9.9 秒

操作手順

①[F]を押してから、[4]を長押しして、プライオリティ設定画面を表示します。

②[UP/DOWN]を押して項目を選択します。

・00-00

プライオリティチャンネルとして使用したいメモリーチャンネルを選択します。

・**DELAY** プライオリティチャンネルの電波が無くなってから戻るまでの時間を設定します。

・**INTERVAL** プライオリティチャンネルをチェックする間隔を時間で指定します。

③[ENT]を押して決定します。

PRIORITY	1/1
02-02	0131.87500
DELAY	OFF
INTERVAL	05
[▼][▲]:Move [0]-[9]:Input	

プライオリティ受信を開始する

■各 VFO、VFO サーチ、サーチモード、スキャンモード全てで動作します。

操作手順

①[F]→[4]の順に押します。

・「PRIO」が表示され、プライオリティ受信が開始されます。

・再度[F]→[4]の順に押すと解除されます。

VFO	AM8	16:21:56
Z	128.000 00	25k
LSQ	AGCF	
PRI		

📍 スケルチが適切に設定されていないと、プライオリティ受信が正常に動作しません。

📍 プライオリティ受信で周波数が切り替わる際にノイズが発生する場合がありますが、故障ではありません。

オフセット受信 (OFFSET)

基地局と移動局などが異なる周波数を使用している複信式 (DUPLEX) や、レピーターを使用する通信を受信する際に、受信周波数を素早く切り替えてチェックすることができる機能です。

[MONI]を押し続けるとオフセット側を受信します。

オフセット受信の設定

- 最大オフセット ±500MHz

操作手順

①[F]→[.]の順に押して、画面下部にオフセットメニューを表示します。

②[ダイヤル]を回して、オフセット番号を選択します。

- ・OFFSET 00 はオフ
- ・OFFSET 01~19 は自由に変更可能。

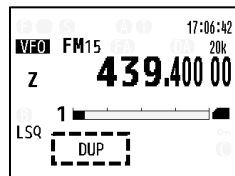
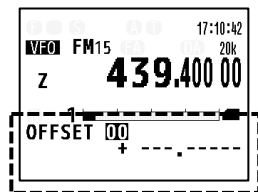
[テンキー]からオフセット周波数を入力。

- ・OFFSET20~39 はプリセット済で変更不可。

③[PASS]を押してオフセット方向(+/-)を変更します。

④[ENT]を押して決定します。

オフセット受信が有効時には、画面上に「DUP」と表示されます。



オフセット受信を行う

操作手順

①[MONI]を押し続けます。

オフセットされた周波数を受信します。

②[MONI]を離すと、通常受信に戻ります。

💡 [MONI]を押している間は、スケルチは開放されます。

💡 周波数オートモード「F-AU」でオフセット受信が自動で設定される周波数帯では、オフセット受信の設定変更を行っても変更されません。

変更したい場合は、周波数オートモード以外を選択してください。

サーチパス

(サーチ・VFO サーチ)

サーチや VFO サーチを行っている際に、外来ノイズや目的外の信号で停止してほしくない周波数をパス登録することで、次回以降その周波数では停止しなくなります。

これにより、より効率的なサーチが可能になります。

■サーチパス登録可能数

- ・サーチ 各バンク最大 50 個
- ・VFO サーチ 最大 50 個

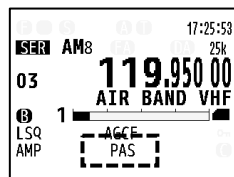
サーチパスを登録する

操作手順

- ① 不要な周波数に停止した状態で **[PASS]** を押します。

以降登録された周波数では止まらなくなります。

💡 サーチや VFO サーチでは、パス周波数を一つでも登録していると、画面上に「PAS」と表示されます。

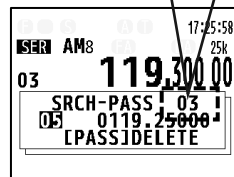


サーチパスを削除する

操作手順

- ① サーチや VFO サーチモードで、**[PASS]** を長押しして、DELETE メニューを表示します。
- ② (サーチの場合のみ) **[ダイヤル]** を回してサーチバンクを選択します。
- ③ **[DOWN]** を押します。
- ④ **[ダイヤル]** を回して削除したいパス周波数を選択します。
- ⑤ **[PASS]** を押して削除します。

サーチバンク



サーチパスを削除する (バンク単位)

操作手順

- ① サーチや VFO サーチモードで、**[PASS]** を長押しして、デリートメニューを表示します。
- ② (サーチの場合のみ) **[ダイヤル]** を回してサーチバンクを選択します。
- ③ **[F]→[PASS]** の順に押して削除します。

メモリーチャンネルパス

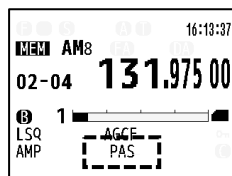
(スキャン・メモリーチャンネル)

スキャン中に、ノイズや目的外の信号で止まって欲しくない周波数を登録することができます。
パス登録されたメモリーチャンネルは、次回からパス（通過）され、止まらなくなります。

メモリーチャンネルパスの登録

操作手順

- ①[SCAN]を押して、メモリーチャンネル読み出しモード、またはスキャンモードにします。
- ②パスチャンネルに登録したいチャンネルを選択します。



- ③[PASS]を押します。

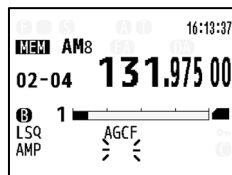
- 💡・メモリーチャンネル読み出しモード「MEM」ではパス登録されたチャンネルも表示します。
- ・スキャンモード(SCN)では、パス登録されたチャンネルは表示されません。
- 💡 [SCAN]を押す度にモードが切り替わります、「VFO」→「MEM」→「SCN」

メモリーチャンネルパスを削除する

操作手順

- ①[SCAN]を押して、メモリーチャンネル読み出しモードにします。
- ②パスを解除したいメモリーチャンネルを選択します。
- ③[PASS]を押します。

パスが解除され「PAS」表示が消えます。



- 💡 メモリーチャンネルのパス登録は 1 チャンネル毎に行います。
バンク単位の解除はできません。

オーディオコライザー (EQ)

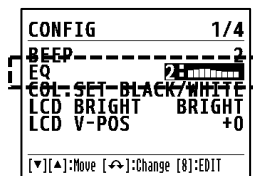
アナログ復調モードで受信した音声のオーディオ特性を調整できます。
音域ごとにカスタマイズ可能で、5つまでプリセット登録できます。

■ 「VFO」「サーチ」「メモリーチャンネル」共通の機能です。

オーディオ特性を選択する

操作手順

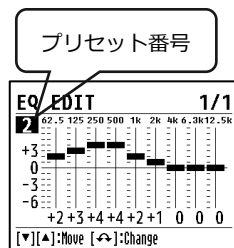
- ①[F]→[7]の順に押して、コンフィグメニューを表示します。
- ②[DOWN]を押して、「EQ」を選択します
- ③[ダイヤル]を回して、好みのオーディオ特性を選びます。
- ④[ENT]を押して決定します。



オーディオ特性をカスタマイズする

操作手順

- ①[F]→[7]の順に押して、コンフィグメニューを表示します。
- ②[DOWN]を押して、「EQ」を選択します
- ③[8]を押すとイコライザー編集画面が表示されます。
- ④[ダイヤル]を回して、編集したいプリセット番号を選択します。
- ⑤[UP/DOWN]でカーソルを移動し、調整したい音域を選びます。
- ⑥[ダイヤル]を回して強弱を調整します。
- ⑦[ENT]を押して保存します。



💡 デジタル復調モードには対応していません。

💡 SSB や AM など音声帯域が狭い通信では、イコライザーの効果が出にくい場合があります。

SD カードについて

本機では、SD カードを使用して、以下の機能を提供します。

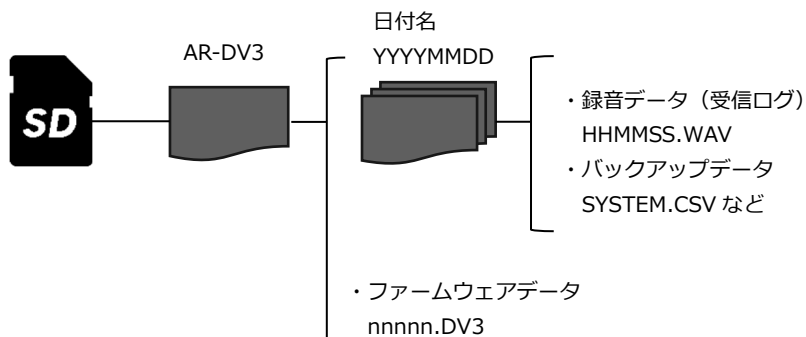
機能	ファイル拡張子
録音	.WAV
受信ログ	.WAV（録音ファイルに含む）
メモリーデータのバックアップ	.CSV
ファームウェアの更新	.DV3

■対応メディア

- ・SDHC カード（最大 32GB）
- ・ファイルシステム FAT32

SD カードのファイル構造

- ・SD カードを本機に挿入すると、AR-DV3 ディレクトリ（フォルダ）が自動で作成されます。
- ・録音や、バックアップを行うと、AR-DV3 ディレクトリ内に、日付名のディレクトリが自動で作成され、その中にデータが保存されます。
- ・ファームウェアは、AR-DV3 ディレクトリ内にコピーしてください。



SD カードに保存されているデータを確認する

操作手順

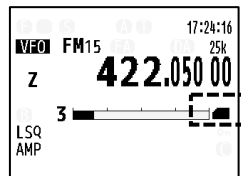
- ① **[F]→[●]**の順に押して、SD カードメニューを表示します。
- ② 「VIEW」で**[ENT]**を押すと SD カード内のデータを表示します。
- ③ ディレクトリで**[ENT]**を押してディレクトリ内を表示します。
[PASS]を押すと前の画面に戻ります。

SD CARD	1/1
LIST	VIEW->
BACKUP	SET->
FREE	07534MB/07536MB
[▼][▲]:Move [↔]:Change [ENT]:Set	

- ・録音データの再生 ☐ P38
- ・バックアップデータの読み込み ☐ P40

SD カード録音

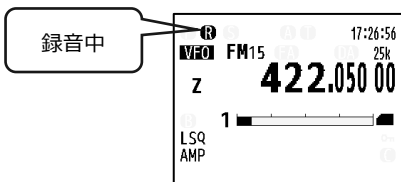
受信した音声を SD カードへ録音することができます。
録音したファイルは、本機だけでなくパソコンでも再生可能です。
SD カードを本機の SD カードスロットへ挿入して、認識されると
すると SD カードアイコンが表示されます。



録音する

操作手順

- ①[●]を押すと録音を開始します。
- ②再度[●]を押すと録音を停止します。



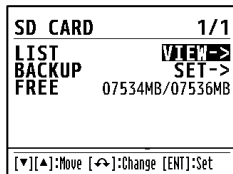
💡 スケルチスキップ機能を使用することで、スケルチに連動した録音が可能です。 P18

録音したファイル(.WAV)を再生する

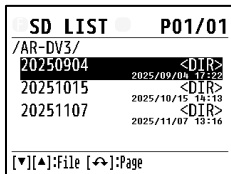
操作手順

- ①[F]→[●]の順に押して、SD カードメニューを表示します。
 - ②[UP/DOWN]を押して、「LIST- VIEW」を選択します。
 - ③[ENT]を押して、SD LIST (ディレクトリ) を表示します。
 - ④[UP/DOWN]を押して、希望のディレクトリ (作成された日付の表示) を選択します。
 - ⑤[ENT]を押して、ディレクトリ内のファイルを表示します。
 - ⑥[UP/DOWN]を押して、「録音ファイル.WAV」を選択します。
 - ⑦[ENT]を押して再生します。
- [CLR]を押すと再生を停止します。

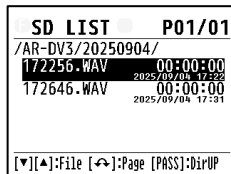
①②



③④



⑤⑥



[PASS]ディレクトリ選択に戻る

💡 SD カードリストには、バックアップデータ(.CSV)も表示されます。 P40

メモリーデータのバックアップ（保存）

本機に登録されているサーチバンクやメモリーチャンネル等のデータを SD カードに保存することができます。

操作手順

- ①[F]→[●]の順に押して、SD CARD を表示します。
- ②[UP/DOWN]を押して「BACK UP-SET」を選択します。
- ③[ENT]を押して、「SD BACKUP」を表示します。
- ④[UP/DOWN]を押して希望のバックアップを選択します。（下記表を参照）
- ⑤[ENT]を押して、バックアップを開始します。

①②

SD CARD	1/1
LIST	VIEW->
BACKUP	SET
FREE	07422MB/07536MB
[▼][▲]:Move [↔]:Change [ENT]:Set	

③④

SD BACKUP	1/2
SRCH BANK	EXEC
SRCH GRP.	EXEC
MEM CH.	EXEC
MEM BANK	EXEC
SCAN GRP.	EXEC
USER AUTO	EXEC
[▼][▲]:Move [ENT]:Exec [CLR]:Cancel	

⑤

SD BACKUP	2/2
SYST	30
WRITING BACKUP...	
[▼][▲]:Move [ENT]:Exec [CLR]:Cancel	

バックアップの種類(.CSV)	説明
SRCH BANK	全サーチバンクのデータ
SRCH GRP.	全サーチグループの設定
MEM CH.	全メモリーチャンネルのデータ
MEM BANK	全メモリーバンクのデータ
SCAN GRP	全スキャングループの設定
USER AUTO	周波数オート（F-AU）のユーザーデータ
SYSTEM(ALL)	本機の全てのデータ（メモリーデータ含む）

💡 バックアップ中は電源を切らないようにご注意ください。

💡 万が一のデータ破損に備えて定期的なバックアップをお勧めします。

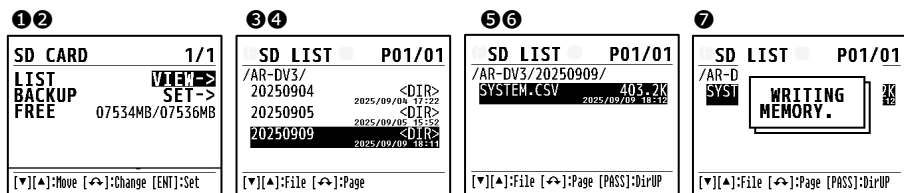
バックアップデータの読み込み

SD カードに保存されたバックアップデータを読み込み、各種設定やメモリーデータを復元することが出来ます。

バックアップデータが保存された SD カードを、本機の SD カードスロットに挿入してください。

操作手順

- ①[F]→[●]の順に押して、SD カードメニューを表示します。
- ②[UP/DOWN]を押して、「LIST-VIEW」を選択します。
- ③[ENT]を押して、「SD LIST」を表示します。
- ④[UP/DOWN]を押して、保存された日付のディレクトリを選択します。
- ⑤[ENT]を押してディレクトリ内のデータを表示します。
- ⑥[UP/DOWN]を押して、バックアップデータ(.CSV)を選択します。
- ⑦[ENT]を押してリストアを開始します。



💡 読み込み中は電源を切らないようにご注意ください。

💡 読み込みすると本機の場合は上書きされます。

SD カード内のデータを削除する

SD カードに記録されたファイル(.CSV/.WAV)や、ディレクトリを削除することができます。

操作手順

- ①[F]→[●]の順に押して、「SD CARD」を表示します。
- ②[UP/DOWN]を押して、「LIST-VIEW」を選択します。
- ③[ENT]を押して、「SD LIST」を表示します。
- ④[UP/DOWN]を押して、削除したいファイルが入っているディレクトリを選択します。
- ⑤[ENT]を押してディレクトリ内のデータ一覧を表示します。
- ⑥[UP/DOWN]を押して、削除したいデータ(.CSV/.WAV)を選択します。
- ⑦[F]→[CLR]の順に押すと削除確認メッセージが表示されます。
- ⑧[ENT]を押すと削除が実行されます。

終了したい場合は、[CLR]を押して元の画面に戻ります。

① ②

SD CARD	1/1
LIST	VIEW->
BACKUP	SET->
FREE	07534MB/07536MB
[▼][▲]:Move [↔]:Change [ENT]:Set	

③ ④

SD LIST	P01/01
/AR-DV3/	<DIR>
20250904	2025/09/04 17:22
20250905	<DIR>
20250909	2025/09/09 15:52
	<DIR>
	2025/09/09 15:51
[▼][▲]:File [↔]:Page	

⑤ ⑥

SD LIST	P01/01
/AR-DV3/20250909/	
SYSTEM.CSV	403.2K
181327.WAV	00:00:08
181349.WAV	00:00:04
	2025/09/09 18:13
	2025/09/09 18:13
[▼][▲]:File [↔]:Page [PASS]:DirUP	

⑦ ⑧

SD LIST	P01/01
/AR-DV3/20250909/	
SYSTEM.CSV	403.2K
	2025/09/09 18:12
FILE DELETE OK?	
SYSTEM.CSV	
[ENT]:DELETE	

💡 [PASS]を押すことで、ファイル操作中に一つ前の階層に戻ることができます。

💡 一度の操作で削除できるのは1つのデータのみです。

複数のデータを削除したい場合は、④からの手順を行ってください。

💡 ディレクトリを削除するには、まずその中のデータを全て削除する必要があります。

💡 削除したデータは復元できません。

必要なデータはパソコン等へコピーしてください。

アラーム・タイマー

指定した日時に動作する「アラーム機能」と「タイマー機能」が搭載されています。
それぞれに「SINGLE（一回のみ）」と「WEEKLY（曜日指定で繰り返し）」の設定が可能です。
設定は、最大 3 つまで保存することができます。

アラーム機能

指定した日時に自動起動して、受信を行います。
動作モード（VFO やサーチなど）の指定や音量設定が可能です。
指定終了時刻になると自動で電源が切れます。
アラーム起動中にいずれかの操作を行うと、アラーム機能が解除され通常動作になります。



モード	説明
SINGLE	一度だけ指定日時に受信動作
WEEKLY	曜日と時刻を指定して、繰り返し

タイマー機能

指定した時間帯に自動起動して、録音を開始・終了します。
定期的な放送の録音などに便利です。
指定終了時刻になると自動で電源が切れます。
タイマー起動中に[CLR]を押すと、録音が停止します。

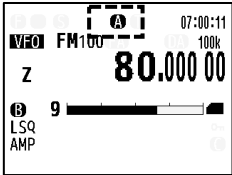
モード	説明
SINGLE	一度だけ指定日時に録音
WEEKLY	曜日と時刻帯を指定して、繰り返し録音






各機能の設定

- ・アラームの設定方法（SINGLE/WEEKLY）  P43
- ・タイマー録音の設定方法（SINGLE/WEEKLY）  P44

アイコン表示について

アラームやタイマー録音が動作中または待機中に、画面上部に以下のアイコンが表示されます。



	アラーム待機中		タイマー待機中
	アラーム動作中（点滅）		タイマー動作中（点滅）
	録音動作中		

アラームの設定方法 (SINGLE/WEEKLY)

アラーム機能を使うと、指定した日時に自動的に受信を開始できます。

用途に応じて「SINGLE（一度だけ）」、または「WEEKLY（毎週指定曜日）」を選択できます。

操作手順

- ❶[F]→[3]の順に押して、CLOCK を表示します。
- ❷「ALARM/TIMER」で[ENT]を押して、「ALARM/TIMER」を表示します。
- ❸[DOWN]で項目を選択→[ダイヤル]を回して変更します。

項目	内容
NUMBER	設定番号 1～3
TYPE	「ALARM」を選択
REPERTS	「SINGLE」、または「WEEKLY」を選択

ALARM/TIMER	1/3
NUMBER	1
TYPE	ALARM
REPEATS	SINGLE
[CLR]:Cancel [ENT]:Set	

日時、曜日の設定 2/3

- ❹[DOWN]を押して、次のページ「2/3」へ移動します。
- ❺日時を[テンキー]から入力します。

ALARM/TIMER		2/3
#2	[HH:MM]	
START	18:00	
END	19:00	
Sun	Mon	Tue
Wed	Thu	Fri
Sat		
TPASS:Set/Reset		

項目	内容
START	開始日時(SINGLE)、または開始時刻(WEEKLY のみ) 【MM-DD HH:MM】
END	終了日時(SINGLE)、または開始時刻(WEEKLY のみ) 【MM-DD HH:MM】
曜日	[ダイヤル]で曜日選択、[PASS]で設定/解除。Mon = 有効 Thu = 無効

起動時の設定 3/3

- ❻[DOWN]を押して、次のページ「3/3」へ移動します。
- ❼[DOWN]を押して各項目を選択→[ダイヤル]を回して変更します。
- ❽[POWER]ノブを長押しして電源を切ります。

ALARM/TIMER	3/3
#1 SRC	VFO
VFO-A	
ALARM VOL	05
SQL OPEN	OFF
[CLR]:Cancel [ENT]:Set	

項目	内容
SRC	起動時の受信モードを選択「VFO」「VSR」「SER」「MEM」「SCN」「CYB」 ※SER/MEM/SCN/CYB は続けてバンク/チャンネルを設定します。
ALARM VOL	起動時の音量設定（事前確認を推奨）
SQL OPEN	ON/OFF SRC で SER, SCN を選択した場合は、「OFF」にしてください。

💡 アラーム動作中に何れかの操作を行うと、アラームが解除され通常動作に戻ります。

タイマー録音の設定方法（SINGLE/WEEKLY）

タイマー録音機能を使うと、指定した時間帯に自動で録音を開始・終了できます。
用途に応じて「SINGLE（一度だけ）」または「WEEKLY（毎週指定曜日）」を選択できます。

操作手順

- ①[F]→[3]の順に押して、「CLOCK」を表示します。
- ②「ALARM/TIMER」で[ENT]を押して、「ALARM/TIMER」を表示します。
- ③[DOWN]で項目を選択→[ダイヤル]を回して変更します。

項目	内容
NUMBER	設定番号 1～3
TYPE	「TIM.REC」を選択
REPERS	「SINGLE」、または「WEEKLY」を選択

ALARM/TIMER	1/3
NUMBER	1
TYPE	TIM.REC
REPEATS	SINGLE
[CLR]:Cancel [ENT]:Set	

日時、曜日の設定 2/3

- ④[DOWN]を押して、次のページ「2/3」へ移動します。
- ⑤日時を[テンキー]から入力します。

ALARM/TIMER	2/3
#2	[HH:MM]
START	18:00
END	19:00
Sun	Mon Tue Wed Thu Fri Sat
[PASS]:Set/Reset	

項目	内容
START	開始日時(SINGLE)、または開始時刻(WEEKLYのみ) 【MM-DD HH:MM】
END	終了日時(SINGLE)、または開始時刻(WEEKLYのみ) 【MM-DD HH:MM】
曜日	[ダイヤル]で曜日選択、[PASS]で設定/解除。Mon = 有効 Thu = 無効

起動時の設定 3/3

- ⑥[DOWN]を押して、次のページ「3/3」へ移動します。
- ⑦[DOWN]を押して各項目を選択→[ダイヤル]を回して変更します。
- ⑧[POWER]ノブを長押しして電源を切ります。

ALARM/TIMER	3/3
#1 SRC	VFO
VFO-A	MEM
ALARM VOL	05
SQL OPEN	OFF
[CLR]:Cancel [ENT]:Set	

項目	内容
SRC	起動時の受信モードを選択 「VFO」「SER」「MEM」「SCN」 ※SER/MEM/SCN は続けてバンク、チャンネルを設定
ALARM VOL	起動時の音量設定（事前確認を推奨）
SQL OPEN	ON/OFF SRC で SER, SCN を選択した場合は、「OFF」にしてください。

- 💡タイマー録音中に[CLR]を押すと録音が停止して、通常動作に戻ります。
- 💡設定時刻の 30 秒前に起動します。

スリープ

スリープ機能を使うと、設定した時間が経過した後に本機の電源が自動でオフになります。
就寝前などにセットしておくくと便利です。

■スリープ時間は以下から選択できます。

15min, 30min, 60min, 90min, 120min, 00min (OFF)

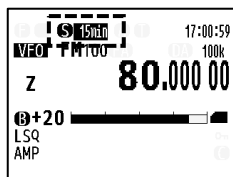
操作手順

❶[F]→[0]の順に押して、画面左上に **S** 「分 min」と表示します。

❷[ダイヤル]を回して、スリープまでの時間（分）を選択します。

❸[ENT]を押して決定します。

残り時間が表示され、設定した時間が経過すると本機の電源が切れます。



💡 スリープ終了後に電源を再度入れると、スリープ機能はオフになります。

💡 スリープ機能が動作中に、アラーム・タイマー機能の開始時刻になった場合は、スリープ機能が無効になります。

ファームウェアの更新

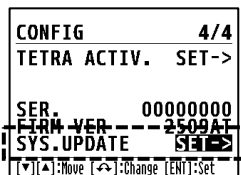
本機の動作改善のために、定期的なファームウェア更新をおすすめします。

事前準備

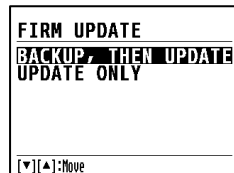
- 1, AOR の HP から、最新のファームウェアをダウンロードします。(別紙参照)
- 2, ダウンロードしたファームウェアを SD カードへ保存してください。
(本機に SD カードを挿入すると、AR-DV3 ディレクトリが自動で作成されます。
ファームウェアデータは、AR-DV3 ディレクトリ上に保存します) □P37
- 3, 本機に SD カードを挿入します。
- 4, 更新の操作を行ってください。

操作手順

- ①[F]→[7]の順に押すと、コンフィグメニューが表示します。
- ②[UP/DOWN]を押して、「SYS.UPDATE-SET」を選択します。

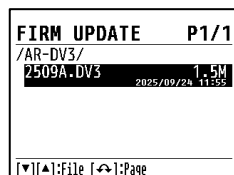


- ③[ENT]を押すと、ファームアップデートメニューが表示します。
- ④[UP/DOWN]を押して選択します。



- ・「BACKUP, THEN UPDATE」
バックアップをしてからファームウェアを更新する。
- ・「UPDATE ONLY」
ファームウェアの更新のみ。

- ⑤[ENT]を押すと、ファームウェアデータの選択画面が表示されます。
「BACKUP, THEN UPDATE」を選択した場合は、バックアップ後に、
ファームウェアデータの選択画面が表示されます。



- ⑥[UP/DOWN]を押してファームウェアデータを選択します。
- ⑦[ENT]を押すと、ファームウェアの更新が始まります。
(全キートップが点滅状態になり、バー表示で進行状況を表示します)
更新が完了後、自動で再起動されます。

- 💡 大切なデータは、更新前にバックアップをしてください。
- 💡 更新中は電源を切らないでください。
- 💡 ファームウェアの更新に失敗して起動できなくなった場合は、「リカバリー機能」をお試しください。 □P47

リセットとリカバリー

リセット

動作不良や、初期化が必要な場合に行う操作です。

リセットには以下の 2 種類があります。

システムリセット(Sys Reset)	メモリーデータ以外の設定を初期化
フルリセット(Full Reset)	メモリーデータを含む全てのデータを初期化

システムリセット

操作手順

❶電源が切れた状態で、**[CLR]**を押しながら**[POWER]**ノブを押し続けます。

画面上に、「Sys. Reset」と表示されたらキーを離してください。

❷リセット操作後に、**[POWER]**ノブを押して再起動してください。

フルリセット

操作手順

❶電源が切れた状態で、**[CLR]**と**[SQL]**ノブを押しながら**[POWER]**ノブを押し続けます。

画面上に、「Full Reset」と表示されたら離してください。

❷リセット操作後に、**[POWER]**ノブを押して再起動してください。

💡 大切なデータは、リセット操作前にバックアップをしてください。

リカバリー

ファームウェア更新に失敗し、本機が正常に起動しなくなった場合に使用する緊急復旧機能です。

本機に記録されているファームウェアを読み込み、一時的に起動させることができます。

リカバリー後は、必ず最新のファームウェアへ更新を行ってください。

操作手順

❶電源が切れた状態で、**[9]**と**[CLR]**を押しながら**[POWER]**ノブを押し続けます。

❷キートップが点滅したら、キーを離します。

約 30 秒後、キートップの照明が消え、時計が表示されたら成功です。

💡 リカバリー中は電源を切らないようにご注意ください。

❸**[POWER]**ノブを押して起動します。

(起動画面に「Recovery」と表示)

❹最新のファームウェアへ更新を行ってください。 □ P46

ラストワンスメモリー機能

現在の受信設定を記憶して、次回の電源投入時に同じ状態で起動することができます。
ラストワンスメモリー機能には、2 種類の操作方法があり状況に応じて使い分けが可能です。

説明	操作方法
シャットダウンして保存	[POWER]ノブを押して、電源を切ります。
強制保存	[F]を押しながら、[POWER]ノブを 1 回押します。 (WRITING MEMORY)と表示

- 💡 どちらの方法でも状態は保存されますが、強制保存意図的に保存したい場合に便利です。
- 💡 コンフィグレーションメニューの「PROTECT」機能が有効な場合、ラストワンス機能は無効になります。 □ P18

◆◆受信編

(機能編は📖P17)

本機には、目的に応じて選べる3つの受信モードがあります。

■VFOモード・・・📖P50

周波数を連続的に可変して受信するモードです。

予め登録することなく、すぐに受信したいときに使用します。

■サーチモード・・・📖P54

あらかじめ周波数範囲をバンクに登録しておき、登録したバンク内を自動で連続的に受信します。

特定のバンド内で電波の有無を調べたいときに使用します。

通常のサーチモードの他に、さらに高速なサイバーサーチ機能があります。

■メモリーチャンネルとスキャンモード・・・📖P60

受信したい周波数が判明しているときは、予めメモリーチャンネルに登録しておきます。

登録したメモリーチャンネルを順に受信するスキャンモードがあります。

受信編 VFO モード

VFO モード

周波数を連続的に可変して受信するモードです。

VFO モードは 2 種類あります。

VFO モード	説明	操作
VFO-Z	1 つの周波数を受信	[F]→[VFO]
2VFO (VFO-A, VFO-B)	2 つの VFO を切り替えて受信	[VFO]を押す度に、A-B 切り替え

🔍 サーチやスキャンモードで[ENT]を押すと、設定内容が VFO-Z にコピーされます。

VFO モードで利用できる基本機能

機能	操作	参照
受信周波数	・ [テンキー]で周波数を入力して[ENT]を押す。 ・ [ダイヤル]を回して可変。 ・ [UP/DOWN]を押す。	📖 P21
復調モード(MODE)	[MODE]を押す。	📖 P23
IF 帯域幅(IFBW)	[F]→[MODE]の順に押す	📖 P23
ステップ周波数(STEP)	[F]→[2]の順に押す。	📖 P24
ステップアジャスト(S-ADJ)	ステップ入力画面で、[PASS]を押す。	📖 P25
アッテネーター、RF アンプ	[F]→[5]の順に押す。	📖 P28
AGC	[F]を押して、[5]を長押し。	📖 P29
オプション機能	[F]→[9]の順に押して、[UP/DOWN]で選択 [ダイヤル]で変更後[ENT]を押す。	📖 P27

VFO モードで利用できる応用機能

機能	操作	参照
VFO サーチ	[VFO]または[UP/DOWN]を長押し。	📖 P52
SD カード録音	録音[●]を押す。停止[●]を押す。	📖 P38
プライオリティ受信	[F]→[4]の順に押す。設定は[4]長押し。	📖 P32
オフセット受信	[F]→[.]の順に押す。	📖 P33
ボイススケルチ	[F]を押してから[1]を長押し。	📖 P30
拡張スケルチ機能 (CTC, DCS, VSCR)	[F]→[1]の順に押す。 (FM モード、IFBW6kHz, 15kHz のみ)	📖 P30

受信編 VFO モード

VFO コピー

現在の VFO の設定内容を他の VFO へコピーできます。

- 例・VFO-Z→VFO-A
・VFO-A→VFO-B

操作手順

- ①コピーしたい VFO を選択します。
- ②[F]→[PASS]の順に押して「VFO COPY」を表示します。
- ③[ダイヤル]を回してコピー先を選択します。
- ④[ENT]を押して決定します。

VFO COPY	1/1
VFO-Z -> VFO-A	
[CLR]:Cancel [ENT]:Set	

受信編 VFO モード

VFO サーチ (VSR)

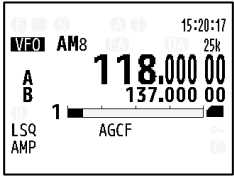
VFO モードで動作するサーチ機能です。
VFO-A ⇔ VFO-B 館の周波数範囲をサーチします。
サーチバンクに登録しないで、簡易的にサーチできる機能です。

IF 帯域幅、復調モード、ステップ周波数などは、サーチの開始側 (VFO-A または VFO-B)の設定が適用されます。

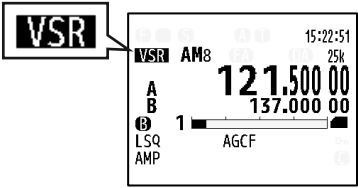
VFO サーチを始める

操作手順

❶[VFO]を押して VFO-A/FO-B を切り替えて、
それぞれに周波数を設定します。



❷[VFO]または、[UP/DOWN]を長押しして、
VFO サーチを開始します。
スケルチを適切に調整してください。



VFO サーチ中の操作

操作	説明
[ダイヤル]または[UP/DOWN]を押す	サーチ方向の変更
[VFO]を押す	VFO サーチを終了
サーチ停止中に[ENT]を押す	VFO-Z に内容をコピー
サーチ停止中に[PASS]を押す	周波数パスに登録 P34

「サーチ停止中」とは、信号を受信してサーチが止まっている状態です。

💡 VFO-Z で操作した場合でも、2VFO 間の VFO サーチを行います。

受信編 VFO モード

VFO サーチの設定

VFO サーチの機能を設定できます。
用途に合わせてご使用ください。

操作手順

- ①[F]を押してから、[VFO]を長押しして「VFO SEARCH」を表示します。

VFO SEARCH	1/1
DELAY	2.0
FREE	OFF
STORE	OFF
DEL.BK39	DELETE
[▼]/[▲]:Move [↔]:Change	

- ②[UP/DOWN]で項目を選択後、[ダイヤル]を回して変更します。
③[ENT]を押して決定します。

設定内容

機能	説明
DELAY (ディレイ)	サーチ停止中に、信号がなくなってからサーチが再開するまでの遅延時間 (秒) を設定。 初期値 2.0 秒 OFF:遅延なし、HOLD:再開なし、範囲 0.1~9.9 秒
FREE (フリー)	サーチ停止後、信号を受信中でも設定時間後に強制的にサーチを再開する機能です。 OFF 無効、01~60 秒 初期値 OFF
STORE (ストア)	VFO サーチで信号を受信した周波数情報をメモリーバンク 39 に自動で登録する機能です。 初期値 OFF OFF 登録しない ON 登録する
DEL.BK39	メモリーバンク 39 の登録内容を全て消します。 DELETE で[ENT]を押して、確認画面で再度[ENT]を押す。

💡 メモリーバンク 39 は、VFO サーチおよびサーチのストア登録先です。
サーチのストアはサーチグループで設定します。 □ P57

受信編 プログラムサーチモード

サーチモード (SRCH)

指定した周波数範囲の電波を自動で探すことができます。

あらかじめ周波数範囲や復調モード、ステップ周波数などをサーチバンクに登録しておき、サーチバンク内の周波数をステップ単位でサーチします。

電波を受信するとサーチが停止して、音声を出力します。

複数のサーチバンクを続けてサーチすることができるリンク機能があります。 □ P57

サーチを行う

サーチバンクを指定してサーチを行います。

スケルチが開く（電波がある）とサーチが停止して音声を出力します。

スケルチが閉じる（電波がなくなる）とサーチが再開します。

操作手順

- ① **[SRCH]**を押して「サーチモード」にします。
 - ② **[SQL]**ノブを回してスケルチを閉じた状態にすると、サーチが開始します。
- ・バンク番号 2 ケタを**[テンキー]**で入力、
または**[F]**→**[UP/DOWN]**を押してバンクを変更します。
（変更後は**[F]**を押します）
 - ・**[UP/DOWN]**を押す、または**[ダイヤル]**を回すとサーチ方向を変更できます。

サーチモードを終了する

操作手順

- ① **[VFO]**を押します。
VFO モードに戻ります。
- ・サーチ動作中に**[SRCH]**または、**[ENT]**を押すと、「VFO-Z」に内容をコピーできます。
 - ・サーチ停止中に**[ENT]**を押すと、「VFO-Z」に内容をコピーできます。

サーチパスを登録する

サーチ中に止まって欲しくない周波数を登録することで、次回から止まらなくなります。

操作手順

- ① 不要な周波数で停止中に**[PASS]**を押します。 □ P34

受信編 プログラムサーチモード

サーチバンク

サーチを行うためには、あらかじめサーチバンクの登録が必要です。

サーチバンクを登録する (SR.PROG)

最大登録数 40 (00~39)

サーチバンクプログラムの項目

バンク番号 00~39	IFBW
L. FREQ 下限周波数	TITLE バンクタイトル
U. FREQ 上限周波数	AMP/ATT
STEP	PROTECT
MODE	-

操作手順

- ①[F]→[6]の順に押して、「SRCH BANK」を表示します。
- ②BANK [ダイヤル]を回す、または[テンキー]でバンク番号を入力します。
[UP/DOWN]を押してカーソルを移動します。
- ③L. FREQ サーチの下限周波数を[テンキー]から入力します。
- ④U. FREQ サーチの上限周波数を[テンキー]から入力します。
- ⑤STEP [ダイヤル]を回してステップ周波数を設定します。
- ⑥MODE [ダイヤル]を回して復調モードを選択します。
- ⑦IFBW [ダイヤル]を回して IF 帯域幅を選択します。

💡 MODE でデジタルモードや「D-AU」を選択した場合は、IFBW の選択はできません。

SRCH BANK	1/2
BANK	05
L.FREQ.	-----
U.FREQ.	-----
STEP	10k
MODE	D-AU
IFBW	15k
[▼][▲]:Move [↔]:Change	

- ⑧TITLE サーチバンクに名称を登録することができます。
 - ・ダイヤルを回してカーソル移動
 - ・[テンキー]を押して文字を入力
 - ・[UP]を押すと 1 文字削除
- ⑨AMP/ATT [ダイヤル]を回して RF アンプとアッテネーターを選択します。
AMP→OFF (空白) →ATT
- ⑩PROTECT [ダイヤル]を回して ON/OFF を選択します。
ON にすると、サーチモードで設定を変更しても保存されません。
但し、サーチプログラムメニューでは変更が可能で、保護されません。
- ⑪[ENT]を押して決定します。

SRCH BANK	2/2
TITLE	
AMP/ATT	AMP
PROTECT	OFF
[▼][▲]:Move [↔]:Change	

受信編 プログラムサーチモード

サーチバンク内容の変更

前項のサーチプログラムでは、設定することができない以下の機能はサーチモードで設定します。

サーチモードで設定する機能

CTCSS	P30	NR	P27
DCS	P30	DIG. DECODE	P27
SCR	P30	IF DIR	P27
RTN	P30	OFFSET(DUP)	P33
VOICE SQL	P30	PRIO	P32

💡 サーチバンクの PROTECT 機能が ON になっている場合、上記機能の一時的な変更は可能ですが、保存されません。

保存したい場合は、事前に PROTECT を OFF にしてください。 P55

💡 復調モードや IF 帯域幅などの設定もサーチモードで変更することが可能です。

サーチバンクを削除する

サーチバンクを 1 バンクずつ削除することができます。

複数のバンクを削除する場合は、この操作を繰り返します。

操作手順

- ① [SRCH] を押してサーチモードにします。
- ② [F] → [UP/DOWN] または、[デンキー] を押して削除したいサーチバンクを選択します。
- ③ [F] → [CLR] の順に押すと「DEL. SRCH. BANK」を表示します。

DEL. SRCH BANK		1/1
BANK		03
L.FREQ	0118.00000	
U.FREQ	0142.00000	
TITLE	AIR BAND VHF	
[CLR]:Cancel [ENT]:Delete		

- ④ サーチバンク内容を確認後、[ENT] を押すと削除されます。

サーチパス

サーチモードで不要な信号がある場合に、パス登録することで、次回から止まらなくなります。

操作手順

- ① [PASS] を押します。 P34

受信編 プログラムサーチモード

サーチグループ

サーチグループでは、複数のサーチバンクを連続してサーチできるリンク機能や、ポーズ時間などのサーチ条件を登録することができます。

目的別にサーチグループを作成しておくことで、その時に合わせたサーチ条件で動作させることができます。

サーチグループを設定する(SR. GRP)

登録可能数 10 (0~9)

サーチグループの登録項目	初期値
バンクリンク	なし
ディレイ	2.0
フリー	OFF
ストア	OFF
DEL, BK39	-

操作手順

- ①[F]→[SRCH]の順に押して、SRCH GROUP を表示します。
- ②GROUP NO [ダイヤル]を回してグループ番号を選択します。
- ③[DOWN]を押して、BANK LINK 項目へ移動します。
[ダイヤル]を回して、リンクさせたいバンクを選択します。
- ④[PASS]を押すたびにリンクの ON/OFF (反転表示)
💡 バンクリンクは必須ではありません。

SRCH GROUP	1/2
GROUP NO	0
BANK LINK	(03:AIR BAND VHF)
00	01 02 03 04 05 06 07 08 09
10	11 12 13 14 15 16 17 18 19
20	21 22 23 24 25 26 27 28 29
30	31 32 33 34 35 36 37 38 39
[↔]:BankMove [PASS]:Link	

- ⑤[DOWN]を押すと、2/2 へ移動

SRCH GROUP	2/2
DELAY	2.0
FREE	01
STORE	OFF
DEL.BK39	DELETE
[▼][▲]:Move [↔]:Change	

2/2

項目	⑥操作手順	説明
[DELAY] ディレイ	[UP/DOWN] で項目を選択。 [ダイヤル]を 回して値を設 定。	電波が無くなってからサーチが再開するまでの時間。 OFF:遅延なし、HOLD:再開なし、範囲 0.1~9.9 秒
[FREE] フリー		サーチが停止してから、信号があっても設定時間後に 強制的にサーチを再開する機能。 設定範囲 OFF, 01~60 秒
[STORE] オートストア		サーチで検出した周波数、復調モード等をメモリーバ ンク 39 に自動登録。ON/OFF
[DEL, BK39] バンク 39 の削除		メモリーバンク 39 内のメモリーチャンネルを全て削 除します。

- ⑦[ENT]を押して決定します。

受信編 プログラムサーチモード

サーチグループを選択する

サーチグループに登録した条件でサーチを行います。

操作手順

- ①[F]→[SRCH]の順に押して、「SRCH GROUP」を表示します。
- ②GROUP NO [ダイヤル]を回してグループ番号を選択します。
- ③[ENT]を押してメニューを終了します。
- ④[SRCH]を押してサーチモードにします。
- ⑤[SQL]ノブを回してスケルチを閉じた状態にすると、サーチが開始します。

SRCH GROUP																1/2
GROUP NO																0
BANK LINK																(03-11-11-11-11-11)
00	01	02	03	04	05	06	07	08	09							
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19							
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39							
[↩]:BankMove [PASS]:Link																

- ・バンク番号2ケタを[テンキー]で入力、
または[F]→[UP/DOWN]を押すとバンクを変更できます。
(変更後は[F]を押します)
- ・[UP/DOWN]を押すと、サーチ方向を変更できます。
💡 バンクリンクに指定していないバンクを指定すると
リンクはされずに、通常のサーチと同様一つのバンクをサーチします。

受信編 プログラムサーチモード

サイバーサーチ (CYB)

高速処理が可能な「サイバーサーチ」を搭載しています。

ステップ単位で動作する通常のサーチと異なり、FFT（高速フーリエ変換）を用いて 500kHz の帯域幅で一括解析します。サーチ範囲が広く、ステップ周波数が小さいほどサイバーサーチの効果が高まります。

サーチスピード性能

- ・通常サーチ=100ch/秒
- ・サイバーサーチ=500kHz あたり 67 ミリ秒

サーチ時間の比較（例 FM モード :サーチ範囲 100MHz 6.25kHz ステップ）の場合

- ・通常サーチ $100\text{MHz}/6.25\text{kHz}/100\text{ch}=\text{約 }160 \text{ 秒}$
- ・サイバーサーチ $0.067\times 100\text{MHz}/0.5=\text{約 }13.4 \text{ 秒}$ ← 約 12 倍速い

💡 SSB や AM モードでは AGC の影響により、またデジタルモードでは信号判定処理が加わるため、上記の時間より遅くなる場合があります。

操作手順

❶ **[SRCH]**を長押ししてサイバーサーチを開始します。

スケルチを適切に調整してください。

❷ バンク選択

- ・バンク番号 2 ケタを**[デンキー]**で入力、
または**[F]→[UP/DOWN]**を押します。（変更後は**[F]**を押します）

❸ サーチ方向の変更

- ・**[UP/DOWN]**を押す
- ・または**[ダイヤル]**を回す。

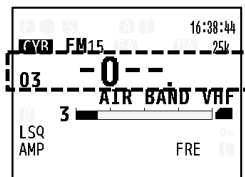
💡 サーチ範囲を一周するごとに「0」表示が1つ移動します。

「0」の移動方向で上下どちらにサーチしているかがわかります。



💡 **[SRCH]**を長押しすると、VFO-Z へ内容がコピーされます。

❹ サイバーサーチを終了する。

[VFO] [SRCH] [SCAN]いずれかのキーを押すと終了します。



サイバーサーチで利用できる機能

- ・サーチグループ  P57
(バンクリンク有効時でも 1 バンクごとに「0」表示が1つ移動します)
- ・サーチパス  P34

受信編 メモリーチャンネル

メモリーチャンネルを登録するとできること

メモリーチャンネル読み出しモード(MEM)や、スキャンモードで受信することができます。

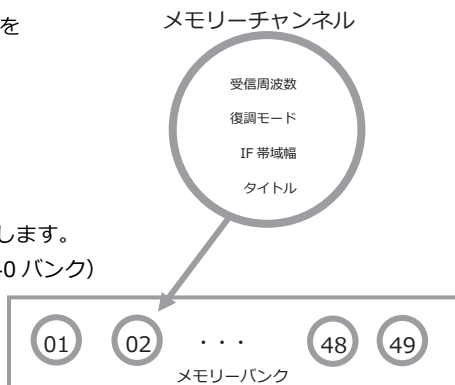
メモリーチャンネル

受信周波数の他、復調モード、IF 帯域幅などをメモリーチャンネルとして登録できます。

メモリーチャンネル読み出しモード(MEM)で読み出して受信することができます。

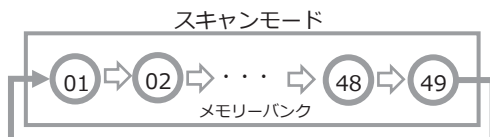
メモリーチャンネルはメモリーバンクに登録します。

■最大登録可能数 2000 (50 チャンネル×40 バンク)



スキャンモード(SCAN)

メモリーバンクに登録されている複数のメモリーチャンネルを自動で電波の有無を調べます。電波があるとスケルチが開きスキャンが停止して音声を出力します。



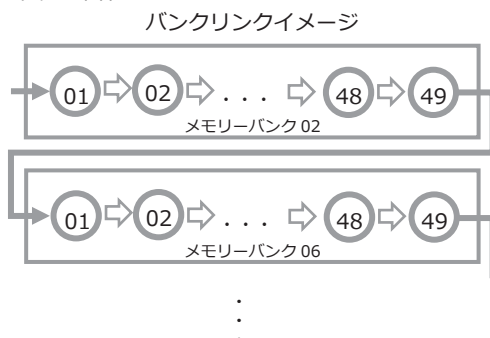
スキヤングループ

複数のバンクを指定して連続でスキャンすることができるバンクリンクの他、ディレイなどのスキャン条件を設定できます。

■最大登録数 10 (0~9) グループ

スキヤングループ

- ・バンクリンク
- ・ディレイ
- ・フリー



受信編 メモリーチャンネル

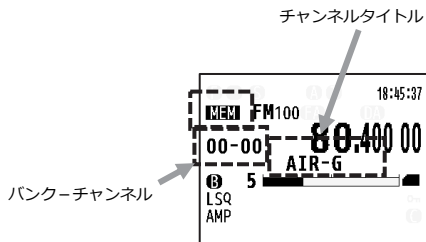
メモリーチャンネル(MEM/SCN)

メモリーチャンネル読み出しモード(MEM)

メモリーチャンネルを読み出して受信することができます。

操作手順

❶[SCAN]を押すと MEM モードになります。



❷MEM モードの操作

操作対象	操作手順	例・補足
バンクとチャンネルを指定する。	[テンキー]から4桁入力	例 バンク 05 チャンネル 12 を選択する場合 [0][5][1][2]と入力
バンク番号のみ変更する。	[F]→[UP/DOWN]を押す。	(変更後は[F]を押してファンクション状態を解除)
チャンネルのみ変更する。	・ [ダイヤル]を回す。 ・ [UP/DOWN]を押す。	
VFO-Z にコピーする。	[ENT]を押す。	

💡 メモリーチャンネルが1つ以上登録されていない場合は、[SCAN]を押してもピープ音が鳴り、読み出し画面は表示されません。

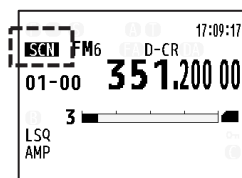
受信編 メモリーチャンネルとスキャンモード

スキャンモード(SCN)

メモリーバンクに登録されているメモリーチャンネルをスキャンします。
電波があると（スケルチが開くと）スキャンが停止して音声を出します。
電波が無くなるとスキャンが再開します。

操作手順

- ① **[SCAN]**を押して **SCAN** を選択します。
- ② スケルチノブを回してスケルチを閉じた状態にするとスキャンが開始します。



③ スキャン中の操作

操作対象	操作手順	補足
バンクを変更する	[F]→[UP/DOWN] を押す。	(変更後は [F] を押してフ ァンクション状態を解除)
	[テンキー] から2桁入力する	
スキャン方向を変更する	[ダイヤル] を回す。	時計方向＝昇順 反時計方向＝降順
VFO-Z にコピーする	[ENT] を押す。	スキャン停止中のみ
パス登録する	[PASS] を押す	スキャン停止中のみ

💡 メモリーチャンネルが1つ以上登録されていない場合は、**[SCAN]**を押してもビープ音が鳴り、読み出し画面は表示されません。

💡 スキャングループ機能が使用できます。

スキャングループ番号を指定してからスキャンを行ってください。 📖 P57

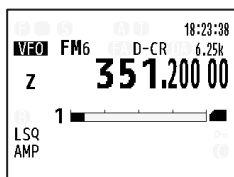
受信編 メモリーチャンネルとスキャンモード

メモリーチャンネルの登録

メモリーチャンネルには、受信周波数や復調モード、IF 帯域幅などを登録します。
登録したメモリーチャンネルはスキャンモードで使用できます。

操作手順

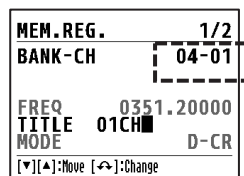
- ① **[VFO]**を押して VFO モードにします。
(VFO-Z, VFOA, VF0B)
- ② メモリーチャンネルに登録したい内容を設定します。



登録可能な設定	参照
受信周波数	P21
復調モード	P23
IF 帯域幅	P23
ステップ周波数	P24
ステップアジャスト	P25
AMP/ATT	P28
AGC	P29
オプション機能	P27
拡張スケルチ機能	P30
デジタル選択受信機能	P26

💡 メモリーチャンネルの内容は、登録後でも編集可能です。 P64

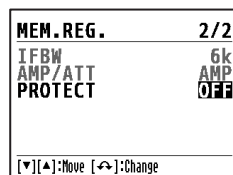
- ③ **[ENT]**を長押しして、「MEM. REG.」を表示します。
どのバンク、チャンネルに登録するか指定します。
 - ・ **[テンキー]**からバンク-チャンネルを 4 桁で入力
または**[ダイヤル]**を回して選択



- ④ **[DOWN]**を押して TITLE を入力します。(任意)
 - ・ **[ダイヤル]**カーソル移動
 - ・ **[テンキー]**英数字選択 (キートップ参照)
 - ・ **[UP]**1 文字削除

タイトルを入力後、**[DOWN]**を押します。

- ⑤ PROTECT の選択 P64
- ⑥ **[ENT]**を押すと登録が完了します。



受信編 メモリーチャンネルとスキャンモード

メモリーチャンネルの内容を変更する

メモリーチャンネルを読み出している状態、またはスキャンが停止中に各種設定を変更する。

操作手順

- ①MEM モードで変更したいメモリーチャンネルを選択します。

または、スキャンモードでスキャン停止中。

- ②各種設定を変更すると、「WRITING MEMORY」と表示されメモリーチャンネルに上書きされます。

💡メモリーチャンネルの PROTECT が ON になっている場合は上書きできません。

PROTECT を OFF にする場合は、次に説明するメモリーエディットで変更してください。

変更可能な設定	参照
復調モード	📖 P23
IF 帯域幅	📖 P23
ステップ周波数	📖 P24
ステップアジャスト	📖 P25
AMP/ATT	📖 P28
AGC	📖 P29
オブション機能	📖 P27
拡張スケルチ機能	📖 P30
デジタル選択受信機能	📖 P26

メモリーエディットで変更する (MEM. EDIT)

メモリーチャンネルの登録内容を、メモリーエディットで変更します。

メモリーチャンネルの PROTECT が ON になっている場合でも変更が可能です。

操作手順

- ①[F]→[8]の順に押すと MEM. EDIT を表示します。

- ②[デンキー]からバンク-チャンネルを 4 桁で入力、または[ダイヤル]を回して選択します。

- ③[DOWN]を押して変更したい項目を選択します。

- ・FREQ (受信周波数) はデンキーから周波数を入力します。
- ・その他の項目は、[ダイヤル]を回して変更します。

- ④[ENT]を押すと「WRITING MEMORY」と表示されメモリーチャンネルに上書きされます。

💡メモリーエディットの変更直後は、MEM 画面上で変更が反映されません。

チャンネル変更などの操作を行うことで反映されます。

変更可能な設定
受信周波数(FREQ)
タイトル(TITLE)
復調モード(MODE)
IF 帯域幅(IFBW)
AMP/ATT
PROTECT

受信編 メモリーチャンネルとスキャンモード

メモリーバンク設定 (MEM BANK)

メモリーバンクのタイトルと、PROTECT を設定できます。

メモリーバンクのタイトルは、PC ソフト「AR-DV3 Data Utility」で表示されます。

本機では表示されません。

操作手順

❶[F]→[SCAN]長押しして、「MEM BANK」を表示します。

❷BANK [ダイヤル]を回してバンク番号を選択します。

❸[DOWN]を押してバンクタイトルを入力します。(任意)

- ・[ダイヤル]カーソル移動
- ・[テンキー]英数字選択 (キートップ参照)
- ・[UP]1 文字削除

タイトルを入力後、[DOWN]を押します。

❹PROTECT の選択

❺[ENT]を押すと登録が完了します。

💡 PROTECT を ON にすると、MEM モードや SCAN モードでバンク内容の変更ができなくなります。

MEM BANK	1/1
BANK	00
TITLE FM RADIO	
PROTECT	OFF
[▼][▲]:Move [↵]:Change	

メモリーチャンネルの削除 (DEL. MEM. CH)

メモリーチャンネルを指定して削除することができます。

操作手順

❶[SCAN]を押して MEM モードにします。

❷削除したいチャンネルを選択します。

❸[F]→[CLR]の順に押して、「DEL, MEM, CH」を表示します。

❹削除するチャンネル内容を確認後、[ENT]を押すと「DELETE?」と表示されます。

❺削除する場合は[ENT]を押します。

❻「WRITING MEMORY」と表示され削除が実行されます。

DEL. MEM. CH	1/1
BANK-CH	04-01
FREQ.	0351.20000
TITLE	DC-R 1
[CLR]:Cancel [ENT]:Delete	

💡 複数のチャンネルを削除する場合は、上記手順を繰り返してください。

バンク単位で削除することはできません。

リセットすることで、本機の登録を全て消去することができます。P47

💡 メモリーチャンネルやメモリーバンクの PROTECT を ON にしている場合、削除することができません。PROTECT を OFF にして再度操作を行ってください。

受信編 メモリーチャンネルとスキャンモード

データエディター(EDIT)

サーチバンク、メモリーバンク、メモリーチャンネルのコピーや移動を行うことができます。

操作手順

- ①[F]→[8]を長押しして「DATA EDITOR」を表示します。
- ②[UP/DOWN]を押してカーソルを移動します。
- ③[ダイヤル]を回す、または[テンキー]からバンク番号やチャンネル番号を入力します。
- ④実行したい項目で[ENT]を押すことで、その機能が実行されます。

DATA EDITOR	1/3
COPY SRCH BANK	
MOVE SRCH BANK	01 => 02
COPY MEM BANK	
MOVE MEM BANK	01 => 02
[▼][▲]:Move [↔]:Change [ENT]:Copy	

項目	説明
COPY SRCH BANK	サーチバンクのコピー
MOVE SRCH BANK	サーチバンクの移動
COPY MEM BANK	メモリーバンクのコピー
MOVE MEM BANK	メモリーバンクの移動
COPY MEM CH	メモリーチャンネルのコピー
MOVE MEM CH	メモリーチャンネルの移動

COPY SRCH BANK
01 => 02

カーソルがある状態で[ENT]を押す

コピー元データ コピー先データ

💡 移動を実行すると、元のデータは削除されます。

コピーを実行すると、元のデータは削除されません。

💡 メモリーデータ未登録のバンクやチャンネルは、元データに表示されません。

受信編 メモリーチャンネルとスキャンモード

スキャングループ

スキャングループでは、バンクリンク機能などのスキャン動作の設定ができます。

初期はグループ番号 0 が選択されています。

スキャングループ 0~9

操作手順

①[F]→[SCAN]の順に押すと、「SCAN GROUP」が表示されます。

②GROUP NO で[ダイヤル]を回してグループ番号を選択します。

③[DOWN]を押すとバンクリンクの設定に移動します。

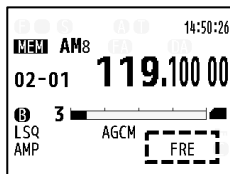
バンクリンク機能は任意です。(初期はバンクリンク無し)

SCAN GROUP		1/2
GROUP NO		0
BANK LINK		
00	01 02 03 04 05 06 07 08 09	
10	11 12 13 14 15 16 17 18 19	
20	21 22 23 24 25 26 27 28 29	
30	31 32 33 34 35 36 37 38 39	
[▼][▲]:Move [↶]:Change		

④[DOWN]を押して次の項目へ移動します。

項目	説明
BANK LINK	<ul style="list-style-type: none">・ [ダイヤル]を回してカーソルを移動します。・ バンクリンクしたいバンク番号上で、[PASS]を押します。 例：バンク3と5を連続でスキャンしたい場合、 3と5で[PASS]を押して反転させる。
DELAY	スキャンが停止後、信号がなくなってからスキャンが再開するまでの待機時間を設定。(初期値：2.0 秒) <ul style="list-style-type: none">・ OFF:待機なしですぐに再開。・ 0.1~9.9 秒：スキャンが再開するまでの時間。・ HOLD：保持する（スキャンを再開しない）
FREE	スキャンが停止後、信号がある状態でも強制的にスキャンを再開する機能。(初期値 OFF) <ul style="list-style-type: none">・ OFF：無効。・ 01~60 秒：再開するまでの時間。

⑤[ENT]を押して決定します。



FREE 有効時の表示

故障と思われる前に

お問い合わせや修理のご依頼前にご確認ください。

電源が入らない	・ ACアダプタは正しく接続されていますか。	☐ P10
	・ DC15V出力のUSB-PD対応電源ですか。(USB-PD端子使用時)	☐ P10
音が出ない	・ AF GAIN（音量）が最小になっていませんか。	☐ P19
	・ スケルチが閉じていませんか。	☐ P20
	・ ボイススケルチやトーンスケルチ等が効いていませんか。	☐ P30
受信しない	・ アンテナは正しく接続されていますか。	☐ P11
	・ 受信周波数が正しく設定されていますか。	☐ P21
受信感が悪い	・ アッテネーターがONになっていませんか。	☐ P28
	・ RF GAINが有効になっていませんか。	☐ P29
受信音がおかしい	・ 復調モードや、IF帯域幅は正しく設定されていますか。 オートモードもお試しください。	☐ P23
	・ ボイススクランブラーが有効になっていませんか。	☐ P30
	・ デジタル無線の秘話コードはありますか。	☐ P26
操作を受け付けない	・ キーロックが効いていませんか。	☐ P15
	・ リモートモードになっていませんか。	☐ P13
スケルチつまみが機能しない	・ RF GAINが有効になっていませんか。	☐ P29
オートモード(F-AU)が解除されてしまう	・ 復調モードやIF帯域幅、ステップなどを変更すると オートモードが解除されます。	☐ P22
サーチ、スキャンができない	・ スケルチの調整は適切ですか。	☐ P20
サーチ、スキャンで信号があるのに停止しない	・ スケルチが深すぎませんか。	☐ P20
	・ バス登録されていませんか。	☐ P34
	・ トーンスケルチやDSC等が設定されていませんか。	☐ P30
サーチ、スキャンが勝手に再開してしまう。	・ フリー機能が有効になっていませんか。	☐ P57
メモリーチャンネルの内容を変更できない。	・ メモリーチャンネルのPROTECTがONになっていませんか。	☐ P64
周波数がずれてしまう	・ 受信周波数がステップ周波数で割り切れない場合は、 ステップアジャストが必要です。	☐ P25
周波数表示が勝手に変わる	・ プライオリティ機能が効いていませんか。	☐ P32
受信できないデジタル無線がある	・ 全てのデジタル方式には対応しておりません。	☐ P23
時刻表示がずれてきた	・ 時計ほどの精度はありません。再設定してください。	☐ P16
ファームウェアの更新後起動しなくなった	・ リカバリー機能をお試しください。	☐ P47

お問い合わせは「お問い合わせフォーム」をご利用ください。

<https://www.aor.co.jp/contact/>



定格

受信周波数		100kHz-3000MHz 最小ステップ10Hz
デジタル復調モード	D-STAR	DVモードに限る
	ALINCO	EJ-47Uに限る
	YAESU	C4FM V/D, Voice FRモード対応
	D-CR/NXDN	RALCWI方式および強化秘話非対応
	DMR	TIER1/TIER2に限る
	T-DM/T-TC	T-DMダイレクトモード、T-TCトラフィックチャンネル (GSSI選択受信はオプション)
	P25	Phase1に限る
	dPMR	dPMR446 Tier1に限る
情報表示		DCR WC/UC, NXDN RAN, DMR SLOT/COLOR, P25 NAC, TETRA SLOT, DSTAR CAL/RPT
選択受信		DCR ENC/WC, NXDN RAN, DMR SLOT/COLOR, P25 NAC, TETRA SLOT
アナログ復調モード	FM	6kHz/15kHz/30kHz/100kHz/200kHz
	AM	3.8kHz/5.6kHz/8kHz/15kHz
	SAH/SAL	3.8kHz/5.6kHz
	SSB(USB/LSB)	1.8kHz/2.6kHz
	CW	200Hz/500Hz (CWピッチ 600Hz固定)
FM スケルチ		CTCSS, RTN, SCR, DCS
オートモード		オートモード (アナログ) /デジタルオートモード (T-DM,T-TC除く)
受信構成		100kHz-18MHzダイレクトサンプリング 18MHz-3000MHz ダブルスーパーヘテロダイン
周波数安定度		±1ppm (0℃～50℃、通電から5分経過後)
受信感度(Typ.)※1	SSB (10dB S/N)	<0.3μV
	AM (10dB S/N)	<1.0μV
	FM (12dB SINAD)	0.1MHz-18MHz <0.5μV
		18MHz-1500MHz <0.3μV
		1500MHz-3000MHz <0.5μV
	WFM (12dB SINAD)	60MHz-108MHz <1.0μV
メモリー数	VFO	3 (A/B/Z)
	MEMORY CH	2000 (50CH×40BANK)
	SERCH BANK	40
	PASS FREQ	1つのBANKまたはVFOあたり50
アッテネーター		0dB / 20dB
RF プリアンプ		約14dB(18MHz以上のみ使用可能)
電源		DC12V(10.7-16V) 外部電源プラグ φ5.5-2.1 またはUSB PD 15V (30W以上) USB Type-C
消費電流		約1A
外形寸法		178(W),50(H),180(D)
重量		約1.5kg
使用温度範囲		0℃ - 50℃
入出力端子	アンテナ端子	BNC-J
	PHONES	φ3.5 ステレオミニジャック (モノラル)
	SP OUT	φ3.5ステレオミニジャック (モノラル)
	LINE OUT	φ3.5 ステレオミニジャック (モノラル) 600Ω負荷
		オーディオ信号または12kHz OFFSET IF信号 (コンフィグで切り替え)
	電源入力	DC12V 5.5-2.1mm
	背面USB Type-C	電源入力 USB PD DC15V
	前面USB Type-C	・コマンド制御 ・「USB Audio Class 1」規格のデジタルオーディオ信号 または12kHz OFFSET IF信号 (コンフィグで切り替え)
付属品		ACアダプター、ロッドアンテナ、取扱説明書

※1 受信感度測定条件

- ・ FM :1kHz TONE, Dev. 3kHz, IFBW 15kHz. ・ WFM:1kHz TONE, Dev. 50kHz, IFBW 100kHz
 - ・ AM :1kHz TONE Mod. 60%, IFBW 8kHz, AGC=ON. ・ SSB :1kHz TONE Mod. 60%, IFBW 2.6kHz, AGC=OFF
- ☞記載されている規格、仕様等は代表値であり保証する値ではありません。

索引

1~2

12kオフセットIF信号	□P13
2 VFO	□P50

A/B/C

AF GAIN	□P19
AGC	□P29
AGCF	□P29
AGCM	□P29
AGCS	□P29
ALARM	□P42
ALARM VOL	□P43
AMP	□P28
ANT	□P11
ATT	□P28
BACK UP	□P39
BACK UP THEN UPDATE	□P46
BANK	□P56, 63
BEEP	□P18
BNC	□P11, 14
BUSY	□P15
C (リモートコントロール)	□P13
CLOCK	□P16
CLR	□P6
CODE	□P26, 30
COL(COLOR)	□P26
COL. SET	□P18
CONFIG	□P18
CTCSS	□P30
CWピッチ	□P69
CYB(CYBER SEARCH)	□P59

D

DATA EDITOR	□P66
D-AU	□P22
D-CR ENC.CODE	□P26
D-CR WC	□P26
DCS	□P30
DEL. MEM. CH	□P65
DEL.BK39	□P53, 57
DELAY	□P53, 57, 67
DEL	□P56, 65
DIG. DECODE	□P27, 56
DISP	□P19
DOWN	□P6
DUP	□P33

E/F/G

ENC. CODE	□P26
ENT	□P6
EQ	□P36
F-AU	□P22
FREE	□P53, 57, 67
Full Reset	□P47
Fキー	□P6
GROUP NO	□P57, 67

H/I/K

HOLD(DELAY)	□P53, 57, 67
ID	□P18
IF BW (IF帯域幅)	□P23
IF DIR	□P27
IF 出力 (オプション)	□P14
INTERVAL	□P32
IQ 出力 (オプション)	□P14
KEY COLOR	□P18
KEY DIMMER	□P18
KEY LIGHT	□P18

L/M/N

LINK	□P57, 67
L., FREQ	□P55
LCD BRIGHT	□P18
LCD V-POS	□P18
LINE (ライン端子)	□P13
LIST VIEW	□P37
LOCK (キーロック)	□P15
LSQ	□P20
MAN.	□P18
MEM	□P61
MEM BANK.	□P39
MEM CH.	□P39
MODE	□P23
MONI	□P6
MOVE	□P66
NAC	□P26
NR	□P27
NUMBER	□P43~44

O

OFFSET	□P33
OPTION	□P27

P/R/S

PASS(PAS)	□P34~35
PHONES	□P12
POWER	□P15
PRIQ(PRIORITY)	□P32
PROTECT	□P18, 55, 64

R/S

RAN	□P26
Recovery	□P47
REGION	□P16
REPRTS	□P43~44
RES. CODE	□P18
RF-G(RF GAIN)	□P29
RFアンブ	□P28
RPT	□P26
RTN	□P30
SCAN	□P62
SCAN GROUP	□P67
SCR	□P30
SQL	□P20
SR. GRP	□P57
SRCH	□P54
STORE	□P53, 57

索引

T/U/V

TITLE	□P55, 63
U. FREQ	□P55
UP DATE ONLY	□P46
UP/DOWN	□P6
USB PD	□P10
USB (端子)	□P13
USER AUTO	□P39
V. SCR	□P30
VFO	□P50
VFO-Z	□P50
VFOコピー	□P51
VFOサーチ(VSR)	□P52
VOICE SQL	□P30
VOL	□P19

W

WC	□P26
WEEKLY	□P42~44

ア/イ/エ/オ

アッテネーター	□P28
アラーム	□P42~43
アンテナ	□P11
アンプ (RFアンプ)	□P28
インターバル	□P32
オーディオコライザー	□P36
オートモード	□P22
オプション	□P14, 27
オフセット受信	□P33

カ/キ/ク

カラーコード	□P9, 26
キー照明	□P18
キーロック	□P15
コード	□P9, 26, 30
コールサイン	□P9
コンフィグ	□P18

サ/シ/ス

サーチグループ	□P57~58
サーチパス	□P34
サーチバンク	□P55
サーチモード	□P54
サイバーサーチ	□P59
システムリセット	□P47
スキャングループ	□P67
スキャンモード	□P62
スケルチ	□P20, 30
スケルチスキップ	□P18
ステップアジャスト	□P25
ステップ周波数	□P24
ストア	□P53, 57
スリープ	□P45
スロット (SLOT)	□P9, 26

タ/テ/ト

タイトル	□P55, 63, 65
タイマー	□P42
デンキー	□P6
トーンスケルチ	□P30

ネ/ノ

ネットワークアクセスコード	□P9, 26
ノイズスケルチ(NSQ)	□P20
ノイズリダクション(NR)	□P27

ヒ/フ/ホ

ビープ音量	□P18
ファームウェア	□P46
ファンクション	□P6
フリー(FREE)	□P57
フルリセット	□P47
ホワイトニングコード(WC)	□P9, 26

マ/メ

マニュアルゲイン	□P18
メモリーエディット	□P64
メモリーチャンネル	□P61
メモリーチャンネルパス	□P35
メモリーデータ	□P37, 39
メモリーバンク	□P60
メモリーバンク設定	□P65

リ/ロ

リセットとリカバリー	□P47
リンク	□P57, 67
レベルスケルチ(LSQ)	□P20
録音	□P38

MEMO



Authority On Radio Communications

株式会社 エーオーアール

〒111-0055 東京都台東区三筋 2-6-4
www.aor.co.jp/